

第53回 県政に関する世論調査の結果について

平成29年5月19日
千葉県総合企画部報道広報課
電話：043-223-2469

県政に関する世論調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的として、昭和50年度から毎年実施しています。

平成18年度から年2回実施しており、今回は平成28年度2回目の調査で県内在住の満18歳以上の男女3,000名を対象に実施しました。

具体的な内容としては、県政全般に関する意識、県民の文化芸術活動、医療、環境保全に関する取組、道路整備、県民の治安に対する意識と警察に求めること、心肺蘇生法及びAED（自動体外式除細動器）、ワーク・ライフ・バランス、都市農業、男女共同参画社会の形成促進、について調査を行いました。

1 調査の設計

- (1) 調査対象 千葉県在住の満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数 3,000人
- (3) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックに分類し(層化)、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して(二段)、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。
- (4) 調査方法 郵送法(郵送配付 - 郵送回収)
- (5) 調査時期 平成28年11月24日～平成28年12月14日

2 回収結果

有効回収数(率) 1,363(45.4%)

3 調査の項目

県政の主要課題

- 県政全般に関する意識調査
- 県民の文化芸術活動に関する調査について
- 医療について
- 環境保全に関する取組について
- 道路整備について
- 県民の治安に対する意識と警察に求めることについて
- 心肺蘇生法及びAED（自動体外式除細動器）について
- ワーク・ライフ・バランスについて
- 都市農業について
- 男女共同参画社会の形成促進について

複数の合計の比率を算出した際に、単純合計と異なる数値になることがある。

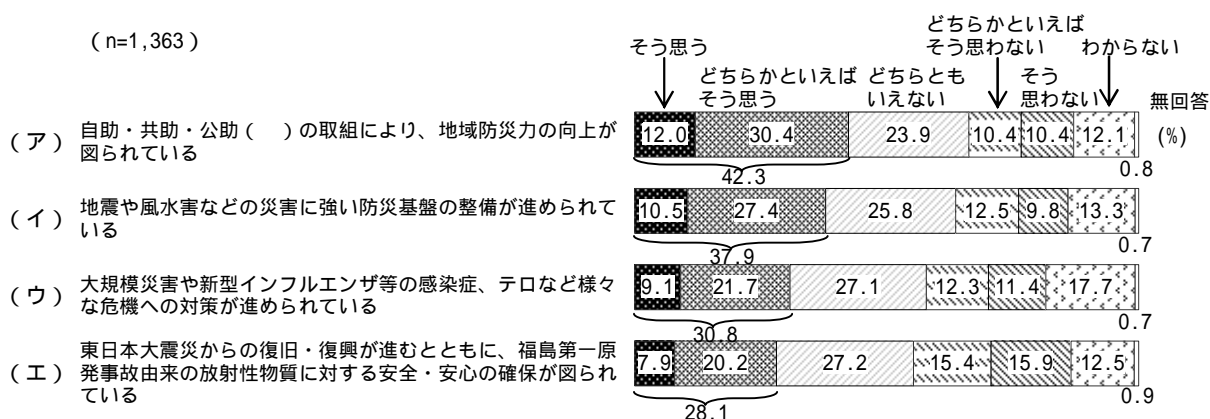
4 調査の結果

1 県政全般に関する意識調査

(1) 防災に関する意識

防災に関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(ア) 自助・共助・公助の取組により、地域防災力の向上が図られている」(42.3%) が4割を超えており、「(イ) 地震や風水害などの災害に強い防災基盤の整備が進められている」(37.9%) が約4割と高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(エ) 東日本大震災からの復旧・復興が進むとともに、福島第一原発事故由来の放射性物質に対する安全・安心確保が図られている」(31.3%) が、『そう思う計』(28.1%) を上回っている。

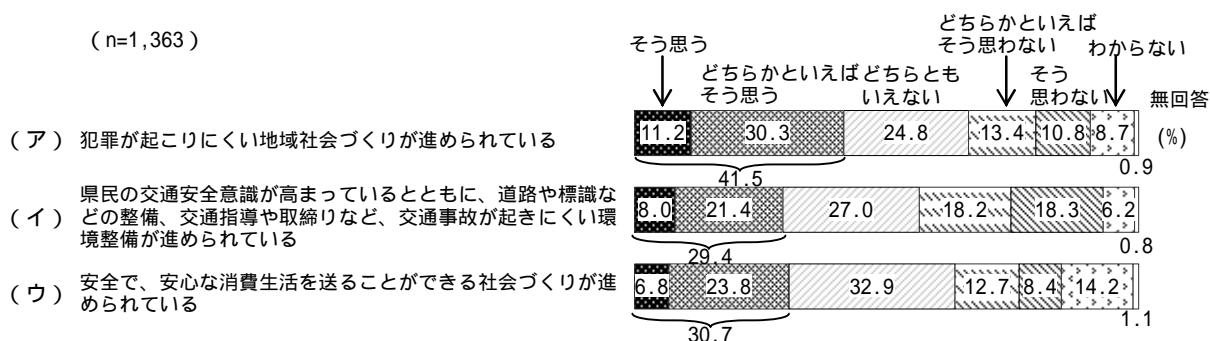


() 自助・共助・公助...「自助」とは、日頃から家庭で災害に備えるなど、自らの身の安全を自らが守ること、「共助」とは、地域で共に備え、助け合うこと、「公助」とは、消防・警察や自治体による救助や支援のこと。

(2) 暮らしの安全・安心に関する意識

暮らしの安全・安心に関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(ア) 犯罪が起きにくい地域社会づくりが進められている」(41.5%) が4割を超えており、「(ウ) 安全で、安心な消費生活を送ることができる社会づくりが進められている」(30.7%) が3割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(イ) 県民の交通安全意識が高まっているとともに、道路や標識などの整備、交通指導や取締りなど、交通事故が起きにくい環境整備が進められている」(36.5%) が、『そう思う計』(29.4%) を上回っている。

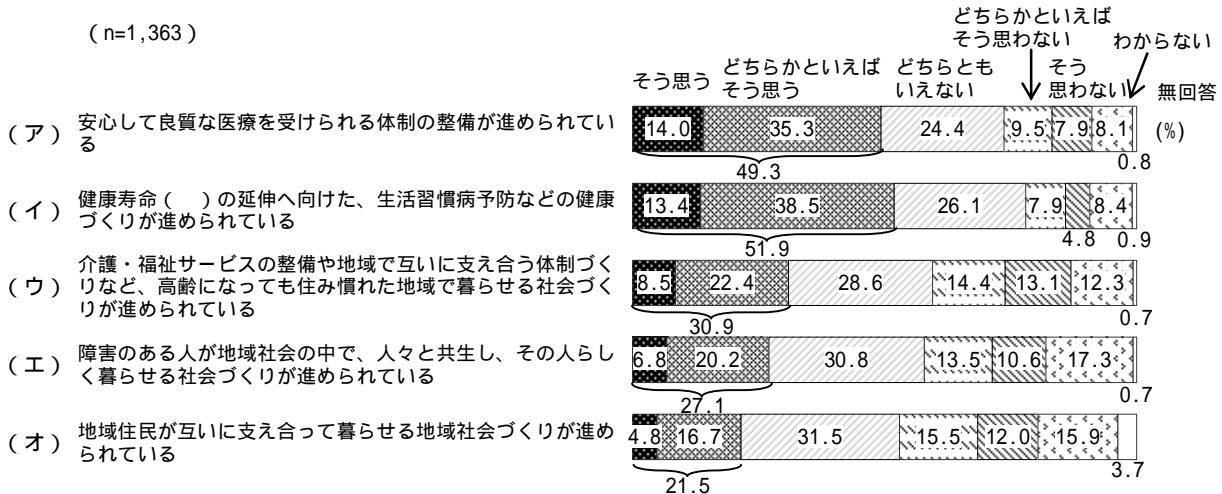


(3) 医療・福祉・健康づくりに関する意識

医療・福祉・健康づくりに関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(イ)健康寿命の延伸へ向けた、生活習慣病予防などの健康づくりが進められている」(51.9%)が5割を超えており、「(ア)安心して良質な医療を受けられる体制の整備が進められている」(49.3%)が約5割と、高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(オ)地域住民が互いに支え合って暮らせる地域社会づくりが進められている」(27.4%)が、『そう思う計』(21.5%)を上回っている。

(n=1,363)

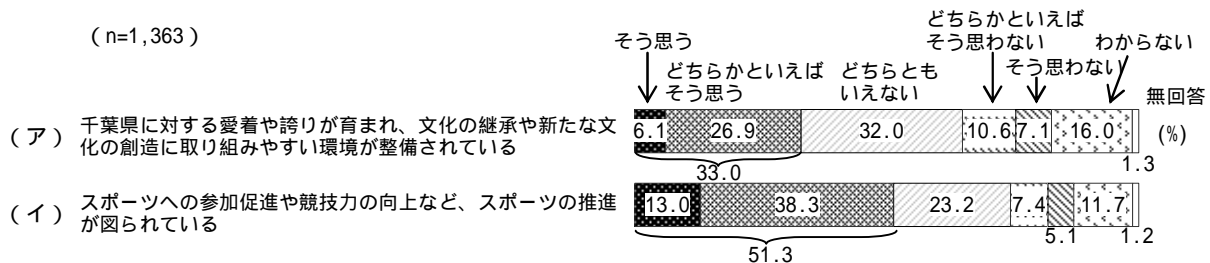


()健康寿命...一生のうち、健康で支障なく日常生活を送れる期間のこと。

(4) 文化・スポーツ振興に関する意識

文化・スポーツ振興に関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(イ)スポーツへの参加促進や競技力の向上など、スポーツの推進が図られている」(51.3%)が5割を超えており、「(ア)千葉県に対する愛着や誇りが育まれ、文化の継承や新たな文化の創造に取り組みやすい環境が整備されている」(33.0%)は3割台半ばとなっている。

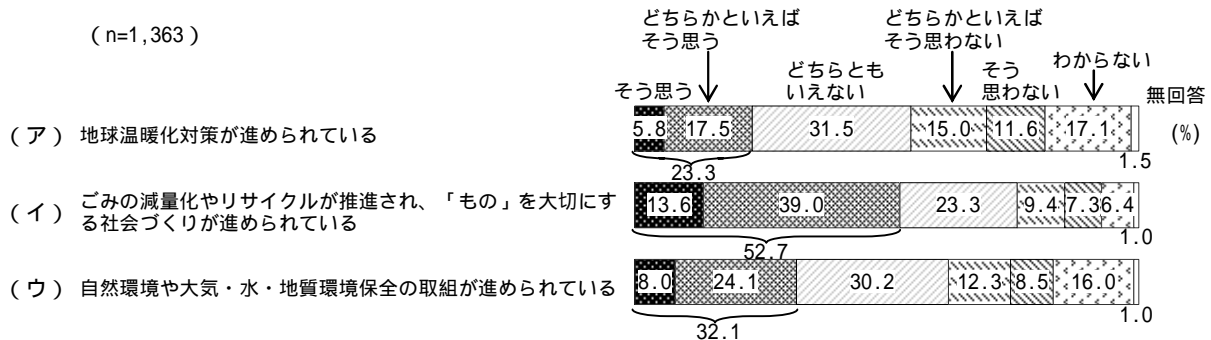
(n=1,363)



(5) 環境問題に関する意識

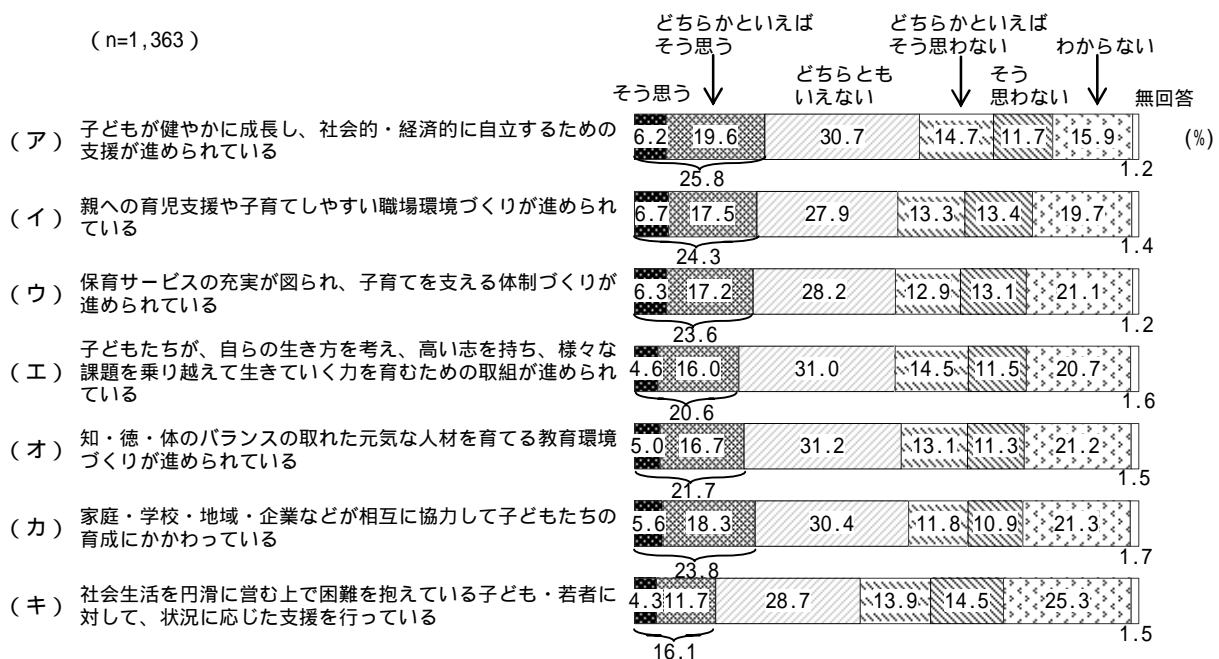
環境問題に関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(イ)ごみの減量化やリサイクルが推進され、「もの」を大切に作る社会づくりが進められている」(52.7%)が5割を超えており、「(ウ)自然環境や大気・水・地質環境保全の取組が進められている」(32.1%)が3割を超えている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた『そう思わない計』では、「(ア)地球温暖化対策が進められている」(26.6%)が『そう思う計』(23.3%)を上回っている。



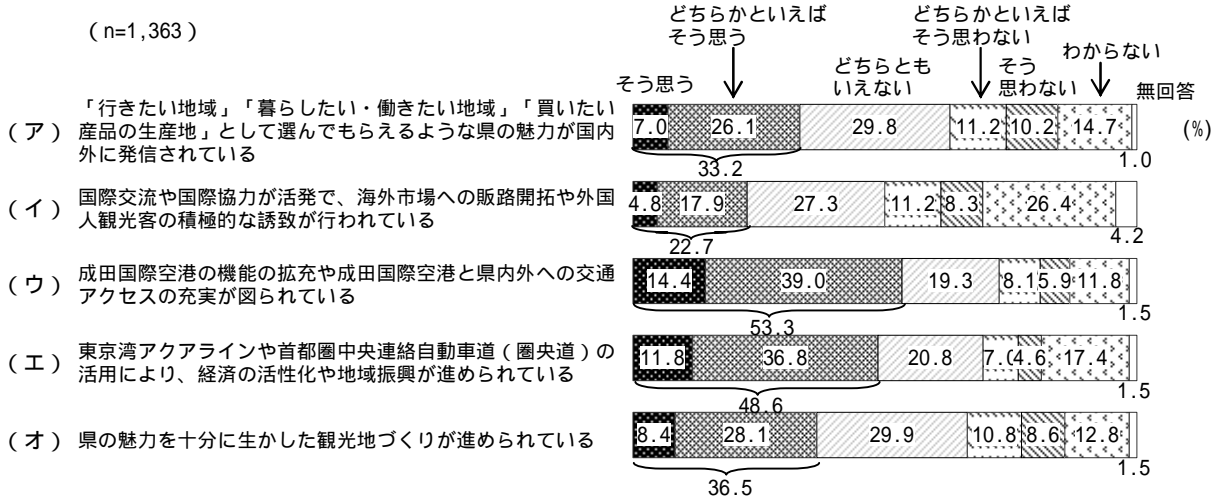
(6) 子育てや教育に関する意識

子育てや教育に関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(ア)子どもが健やかに成長し、社会的・経済的に自立するための支援が進められている」(25.8%)、「(イ)親への育児支援や子育てしやすい職場環境づくりが進められている」(24.3%)、「(ウ)保育サービスの充実が図られ、子育てを支える体制づくりが進められている」(23.6%)、「(エ)子どもたちが、自らの生き方を考え、高い志を持ち、様々な課題を乗り越えて生きていく力を育むための取組が進められている」(20.6%)、「(オ)知・徳・体のバランスの取れた元気な人材を育てる教育環境づくりが進められている」(21.7%)、「(カ)家庭・学校・地域・企業などが相互に協力して子どもたちの育成にかかわっている」(23.8%)、「(キ)社会生活を円滑に営む上で困難を抱えている子ども・若者に対して、状況に応じた支援を行っている」(16.1%)が2割台半ばとなっている。



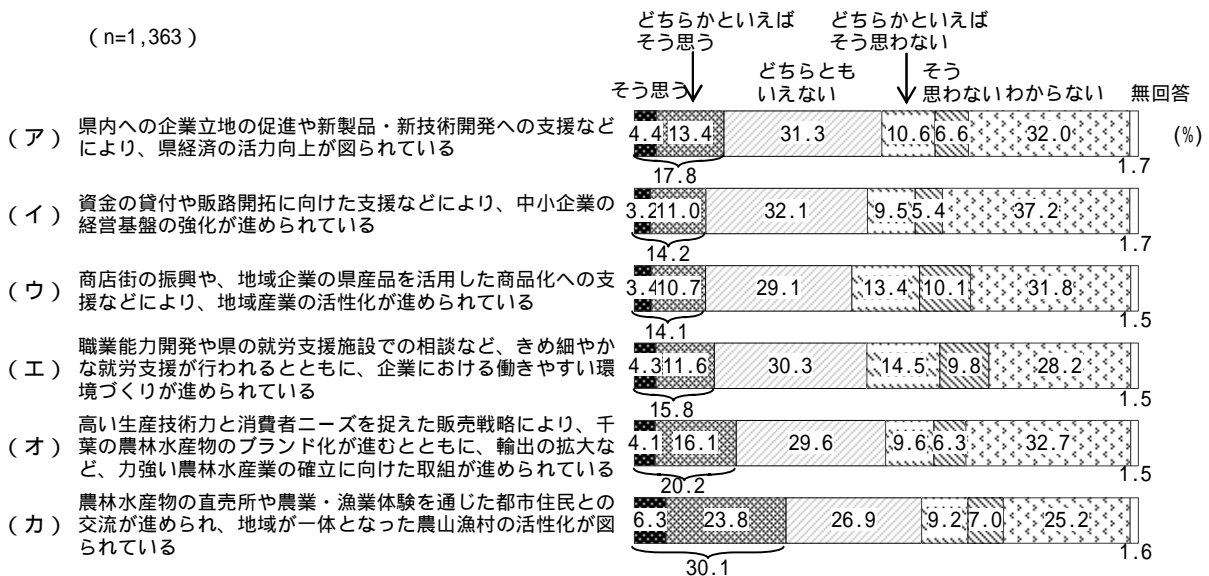
(7) 千葉県の魅力づくりに関する意識

千葉県の魅力づくりに関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(ウ) 成田国際空港の機能の拡充や成田国際空港と県内外への交通アクセスの充実が図られている」(53.3%) が5割台半ば、「(エ) 東京湾アクアラインや首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の活用により、経済の活性化や地域振興が進められている」(48.6%) が約5割と高くなっている。



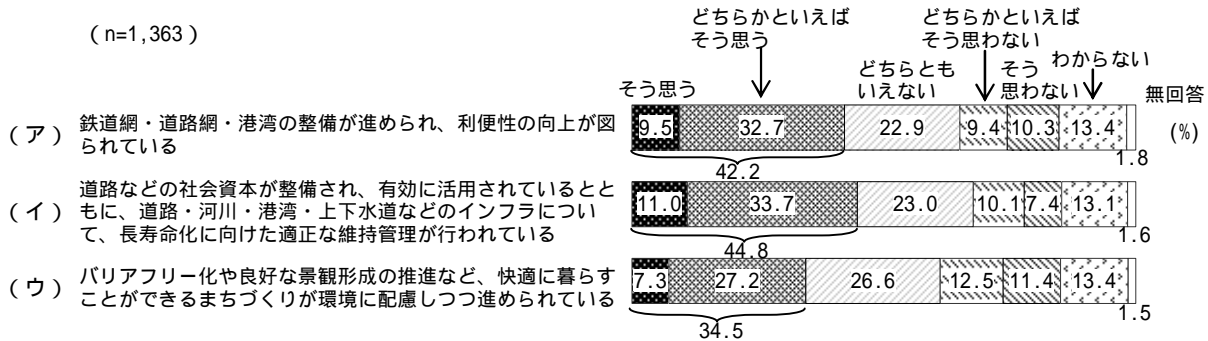
(8) 商工業や農林水産業の活性化に関する意識

商工業や農林水産業の活性化に関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(カ) 農林水産物の直売所や農業・漁業体験を通じた都市住民との交流が進められ、地域が一体となった農山漁村の活性化が図られている」(30.1%) が3割、「(オ) 高い生産技術力と消費者ニーズを捉えた販売戦略により、千葉の農林水産物のブランド化が進むとともに、輸出の拡大など、力強い農林水産業の確立に向けた取組が進められている」(20.2%) が2割となっている。



(9) 県の基盤づくりに関する意識

県の基盤づくりに関する取組状況は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う計』では、「(イ) 道路などの社会資本が整備され、有効に活用されているとともに、道路・河川・港湾・上下水道などのインフラについて、長寿命化に向けた適正な維持管理が行われている」(44.8%)が4割台半ば、「(ア) 鉄道網・道路網・港湾の整備が進められ、利便性の向上が図られている」(42.2%)が4割を超えている。



《「県が今後力を入れていくべき分野や取組について」の自由回答(抜粋)》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、355人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

最近千葉県での犯罪が多発していると思う。もっとそういう事が起こらないようにパトロールや、母親が子供を育てやすい場を作っていくべきだと思う。(女性、18~19歳、東葛飾地域)

道の駅等の支援による農漁業の活性化(県内の道の駅は多くていいと思う)。弱者への対応(バリアフリー、生活支援、補助等)は今後とも続けて欲しい。もう少し広報(県のPR)が目立っても良い。(男性、65歳以上、東葛飾地域)

2020年の東京オリンピック、パラリンピックに向けて、空港もあるのだから国内外に向けてもっとアピール、情報発信とハード面の拡充をするべきだと思う。このままでは成田空港も、もったいない!!!(女性、30代、印旛地域)

千葉県の自然環境(山・河・海岸)などの整備。例えば私が住む花見川区は花見川がありますが、川岸をもっときれいにしてサイクリング・散歩・ジョギングなど気持ちよく安全にできるようにしてほしい。(男性、60~64歳、千葉地域)

アクアライン通行800円は続けて欲しい。保育の充実をはかってほしい。待機児童対策を続けて欲しい。安心して働けないので。また、少子化対策も。(女性、30代、千葉地域)

あれもこれもと手を広げると、担当者の数や手も限りがあると思うので、どっちつかずの結果にならないように取捨選択をしてほしい。教育(特に子供)は不可欠だと思います。(女性、40代、葛南地域)

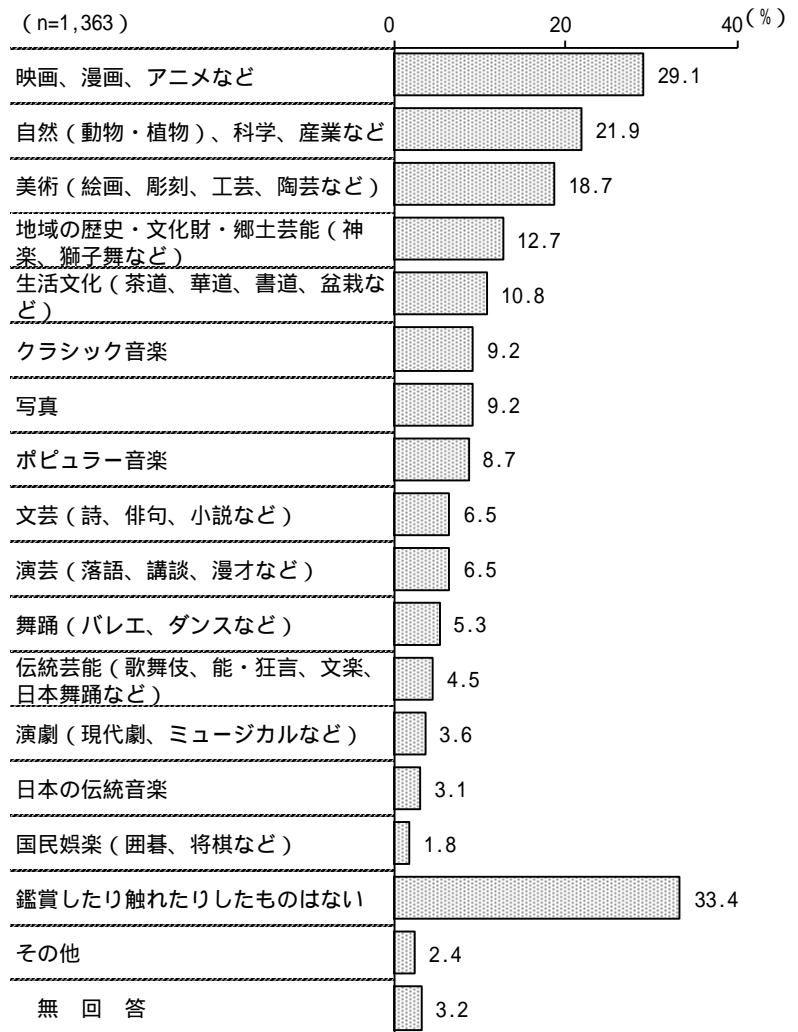
2 県民の文化芸術活動に関する調査について

(1) この1年間に県内でふれた文化芸術

(複数回答：いくつでも)

最近1年間に県内で鑑賞したり触れたりした文化芸術を聞いたところ、「映画、漫画、アニメなど」(29.1%)が約3割と最も高くなっている。以下、「自然(動物・植物)、科学、産業など」(21.9%)、「美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など)」(18.7%)が続く。

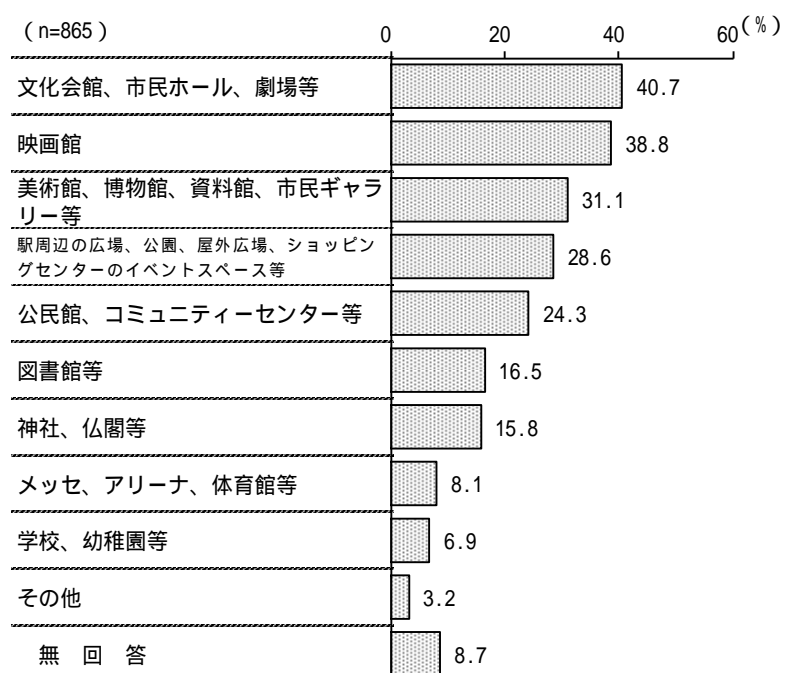
一方で、「鑑賞したり触れたりしたものはなし」(33.4%)も3割台半ば見られた。



(2) 文化芸術にふれた場所

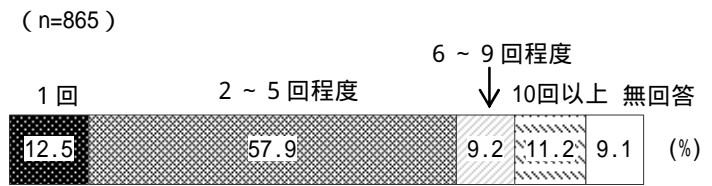
(複数回答：いくつでも)

「鑑賞したり触れたりした方」865人を対象に、この1年間に鑑賞したり触れたりした場所を聞いたところ、「文化会館、市民ホール、劇場等」(40.7%)が4割で最も多い。以下、「映画館」(38.8%)、「美術館、博物館、資料館、市民ギャラリー等」(31.1%)、「駅周辺の広場、公園、屋外広場、ショッピングセンターのイベントスペース等」(28.6%)が続く。



(3) 文化芸術にふれた回数

「鑑賞したり触れたりした方」865人を対象に、この1年間に鑑賞したり触れたりした頻度を聞いたところ、「2～5回」(57.9%)が約6割と最も多くなっている。

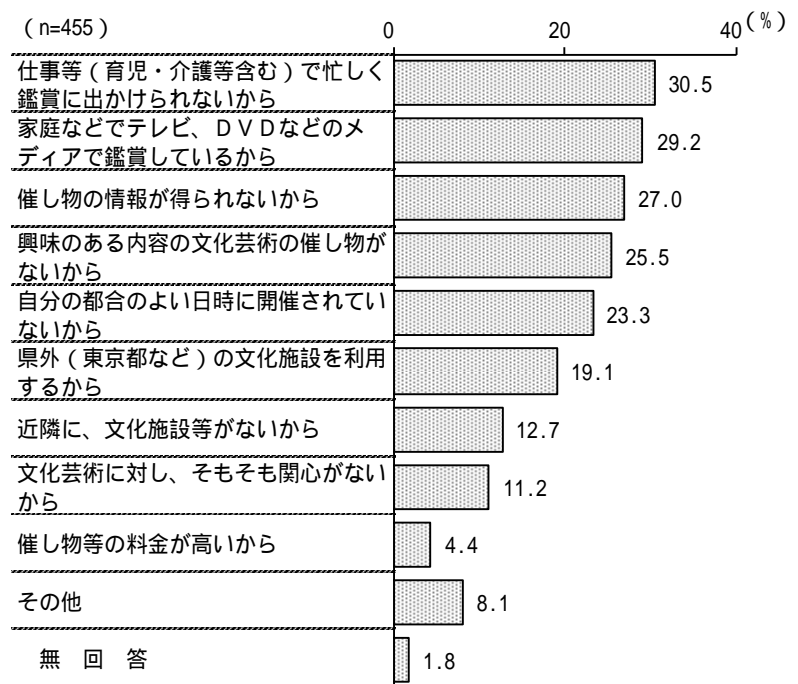


(4) この1年間に県内の文化芸術にふれなかった理由

(複数回答：いくつでも)

「鑑賞したり触れたりしなかった方」455人を対象に、その理由を聞いたところ、「仕事等(育児・介護等含む)で忙しく鑑賞に出かけられないから」(30.5%)が3割で最も多い。

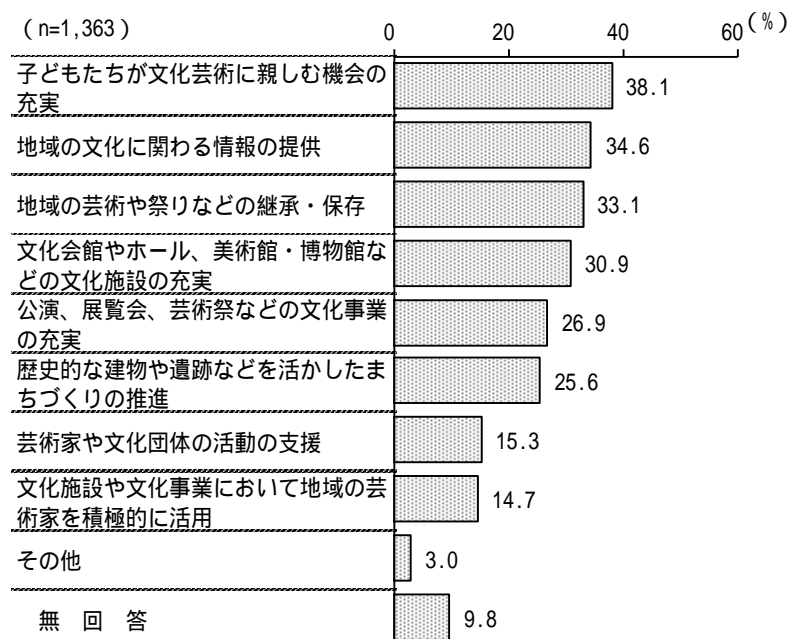
以下、「家庭などでテレビ、DVDなどのメディアで鑑賞しているから」(29.2%)、「催し物の情報が得られないから」(27.0%)、「興味のある内容の文化芸術の催し物がないから」(25.5%)が続く。



(5) 地域の文化的環境に必要なこと

(複数回答：いくつでも)

地域の文化的環境を満足できるものとするために必要なことを聞いたところ、「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」(38.1%)が約4割で最も多い。以下、「地域の文化に関わる情報の提供」(34.6%)、「地域の芸術や祭りなどの継承・保存」(33.1%)、「文化会館やホール、美術館・博物館などの文化施設の充実」(30.9%)が続く。



《「県民の文化芸術活動について」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、155人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

市の中心部ばかりでの催しで遠方の方は参加が難しいので、場所をバラバラで色々な所をお願いしたいです。(女性、30代、千葉地域)

地域の公民館を有効利用しているサークルをもっと親しむ機会があるべき。近くに公民館のない人々はどうやって地域の文化に触れたらいいのですか？ 情報が少ないところにも目を向けるべきだと思います。(女性、30代、君津地域)

コンクールのような発表・表彰機会を増やすことで、個人・団体の活動が活性化する環境づくり、プラットフォームづくりが強化されると良いと思います。(男性、40代、東葛飾地域)

10～20年前に比べたら、現在各種コンサート、催し物は多く拡充している。この状態を後退させることのないように願う。(男性、65歳以上、千葉地域)

長生郡市には映画館はなくなっていました。中心市の文化会館等で毎月1回くらい定期的に開催できる体制があったら良いと思います。(男性、65歳以上、長生地域)

文化会館のような多目的ホールを改装して欲しい。オーケストラやお芝居などをもっと充実させて欲しい。ミュージカルなどを見たい。コンサートも行える場所を…。大物歌手をむかえられるくらいの規模を作り上げて欲しい。(女性、40代、千葉地域)

文化会館やホール等、イベントに集まる人の数に対して、駐車場の規模が不足していると思います。又、その際の近辺道路の渋滞がひどい時が多いです。それを緩和、解決しないと、活動拡充しても、他の色々な問題が生じると思います。(女性、40代、葛南地域)

どんな行事が開催されているのか、知る機会がない。広告や情報の提供をし、県民に知らせ、アピールしていくことが大切。(女性、20代、東葛飾地域)

子供のころ千葉市に住んでいたので歴史は佐原くらいしか教わらなかったが、安房の歴史を伝えるべきではないか？(男性、20代、安房地域)

文化に触れる…ことよりも生活そのものが成立しなくなっている地域が多い。地域の祭りなどは、若者がいなくなる田舎ではいつ消滅するかわからない。(男性、50代、香取地域)

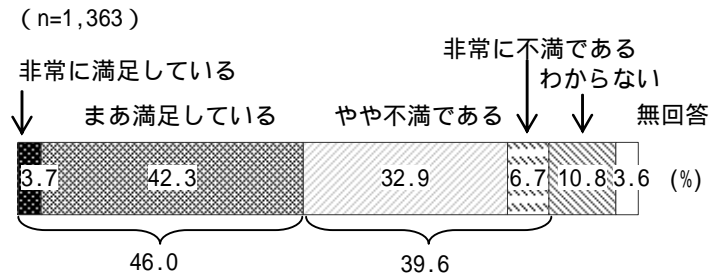
3 医療について

調査の目的
医療提供体制の整備に向けた基礎資料とするため。
(担当：健康福祉政策課)

(1) 県内の医療の満足度

千葉県内の医療について、その満足度を聞いたところ、「非常に満足している」(3.7%)と「まあ満足している」(42.3%)を合わせた、『満足している』(46.0%)が4割台半ばとなっている。

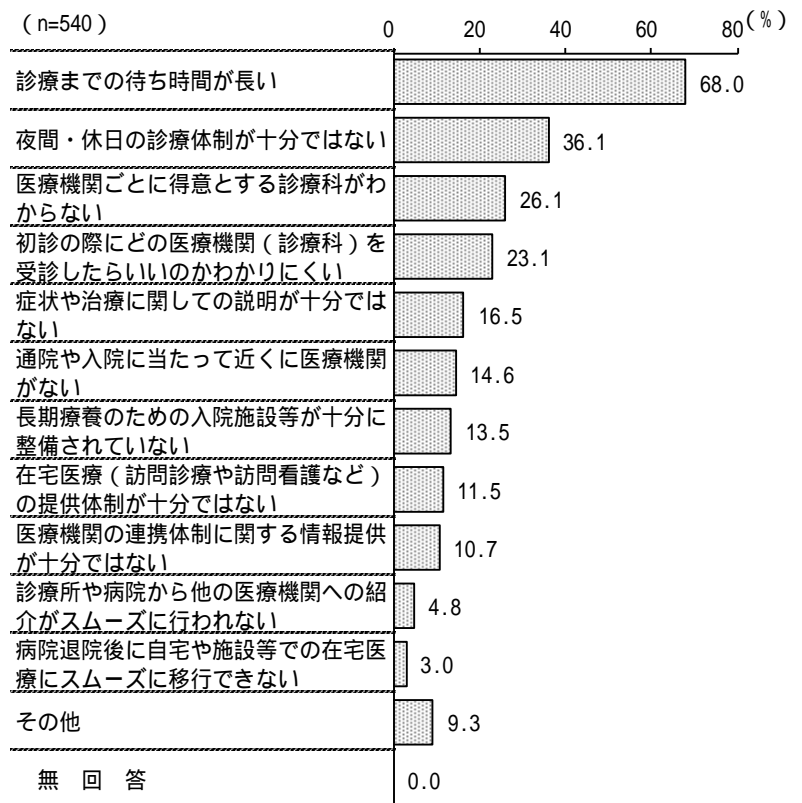
一方、「やや不満である」(32.9%)と「非常に不満である」(6.7%)を合わせた、『不満である』(39.6%)は約4割となっている。



(2) 県内の医療で不満な点

(複数回答：3つまで)

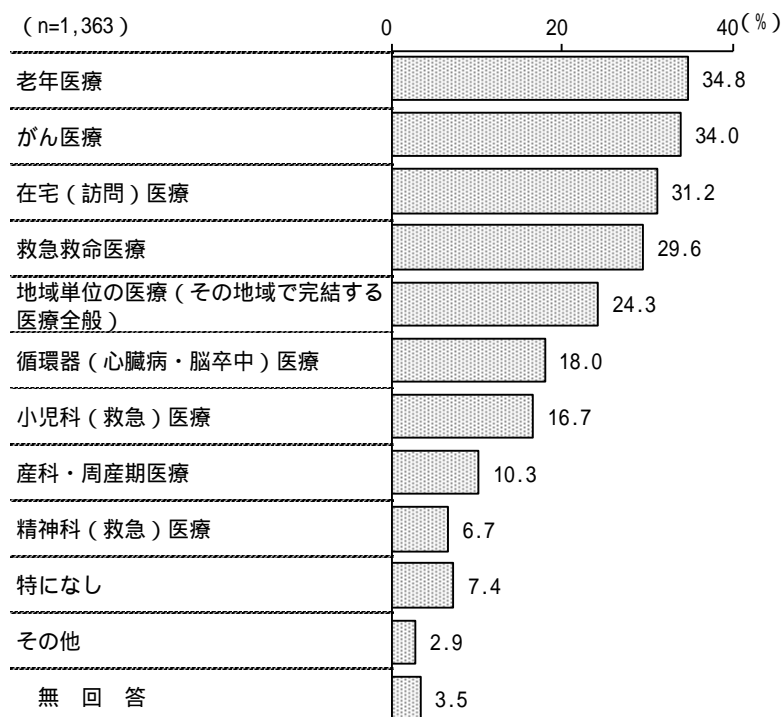
『不満である』と回答した540人に、不満点を3つまで選んでもらったところ、「診療までの待ち時間が長い」(68.0%)が約7割と最も多い。以下、「夜間・休日の診療体制が十分ではない」(36.1%)、「医療機関ごとに得意とする診療科がわからない」(26.1%)、「初診の際にどの医療機関(診療科)を受診したらいいのかわかりにくい」(23.1%)が続く。



(3) 今後、県に力を入れて欲しい医療

(複数回答：3つまで)

今後、県に力を入れて欲しい医療について、3つまで選んでもらったところ、「老年医療」(34.8%)、「がん医療」(34.0%)が共に3割台半ばと多くなっている。以下、「在宅(訪問)医療」(31.2%)、「救急救命医療」(29.6%)が続く。



《「医療について」の自由回答(抜粋)》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、211人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

婦人科はあるが、産科はかなり少なく、これから家庭を持ちこのまま県内で出産となるととても不安になる。また、産科もかなり混みあっているため、待ち時間が長く妊婦や子供のいる親にとってはとても大切だと思うので、早急に産科・周産期医療を充実してほしい。医師も増やしてほしい。(女性、20代、千葉地域)

かかりつけ病院の充実、もっと手軽に受診できるメンタルなことも含めて相談ができる総合診療を充実してほしい。女性医師を増やしてほしい。(女性、40代、千葉地域)

在宅医療(訪問診療や訪問看護など)の提供体制の充実に徹していただきたい。
(女性、65歳以上、千葉地域)

老人が増え、自身で病院に通うことが難しくヘルパーさんなどを利用するにしても介護保険で使える時間などから厳しい方もいると思いますので、訪問診療してくれる医科歯科病院が増えると良いと思います。(女性、30代、葛南地域)

千葉県こども病院のような機能病院を東葛地域にも必要。(男性、40代、東葛飾地域)

先生や看護師が足りない感じが結局患者に影響している印象です。地域で満足な病院には恵まれていません。先生や看護師を増やす教育に力を入れてほしいです。(女性、30代、印旛地域)

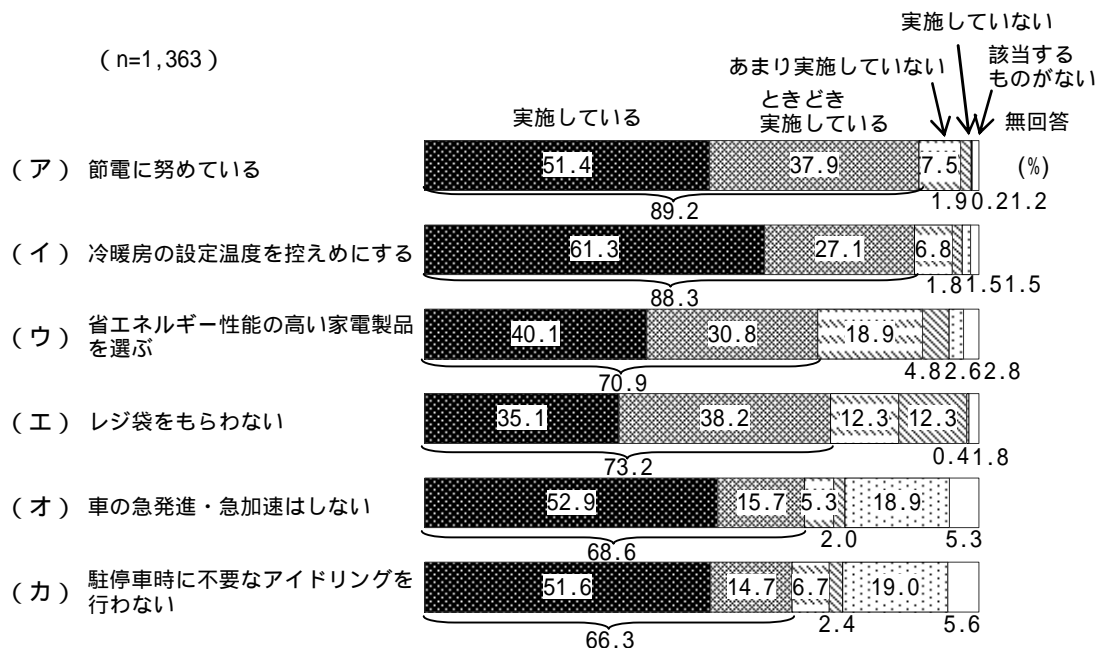
過疎地域では昔からの医院が閉院して、次の医師を探すのが大変。どうしても遠くなる。
(女性、50代、君津地域)

4 環境保全に関する取組について

(1) 普段の生活で行っている環境保全の取組

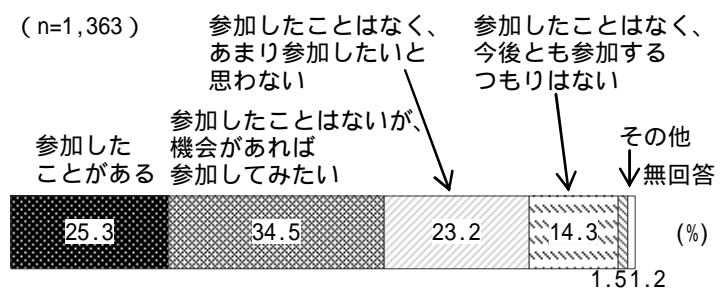
普段の生活で行っている環境保全の取組状況を、「実施している」「ときどき実施している」を合わせた『実施している計』でみたところ、「(ア)節電に努めている」(89.2%)、「(イ)冷暖房の設定温度を控えめにする」(88.3%)が共に約9割と高くなっている。

また、「(エ)レジ袋をもらわない」(73.2%)、「(ウ)省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」(70.9%)は、7割以上が『実施している計』としている。



(2) 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動の参加状況

環境保全に関する活動の参加経験について聞いたところ、「参加したことがある」(25.3%)が2割台半ばとなっている。また、「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」(34.5%)が3割台半ばとなっている。



《「環境保全に関する取組について」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、134人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

相続他、いろいろな理由はあると思うが、この10年でも雑木林、草地、畑、田などがなくなり、建売り住宅にどんどん変わり、緑が減っていく。できれば残るようなことを考えてほしい。

（女性、40代、東葛飾地域）

千葉県は緑の多い県と思うのでいろいろな方法で保全につとめて欲しいと思う。

（女性、60～64歳、葛南地域）

自然エネルギーを利用した公共交通手段を取り入れ、安価で利用できるようにしたら良いと思います（ショッピングモールへのバス化など）。津田沼駅の鳥をどうかしてほしい。鳴き声、フンによる被害が大きいです。（女性、30代、葛南地域）

都市部以外の地域では、可燃ゴミとして、伐採した庭木の枝や草等を多く出していると思います。これらを利用して、バイオマス発電（ガス生成も含む）等ができないでしょうか。ゴミの収集コストがかかるとは思いますが、黒字にする必要はないと思います。

（男性、60～64歳、長生地域）

市原～千葉16号を使いますが、ゴミのポイ捨てが非常に目立ちます（時々、周辺企業の方が拾ってくれていますが）。学校などで特別授業（ゴミを捨てたらどうしていけないのか等）を実施してみたらどうでしょうか？（女性、30代、千葉地域）

流山市は資源ゴミの出し方が難しいです。引越したばかりで分かりません。柏市にいた時は資源ゴミとして出していた紙が、今燃やすゴミに出しています。その他にも衣類の出し方がわからないし、困っています。（女性、65歳以上、東葛飾地域）

清掃活動に関心あり、県民だより等に掲載して頂ければ参加出来るよう努める。

（女性、40代、千葉地域）

省エネルギー性能の高い家電は欲しくても今のものが使えるため、わざわざ買うとお金もかかるため、購入費用も大変だ。買い替えの時なら選びたいと思う。（女性、40代、安房地域）

ほんの小さな心遣いで成功することが多い。例えばゴミ、かつて（2～3年前）は週に30Lだったのが、今では20Lあるかないかになっている（夫婦2人家族）。

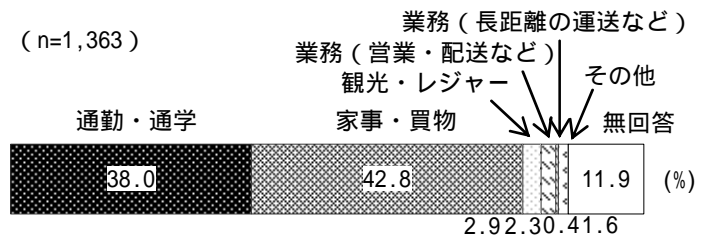
（女性、65歳以上、千葉地域）

家庭のごみを平気で燃やしている人がとても多い。（女性、65歳以上、海匝地域）

5 道路整備について

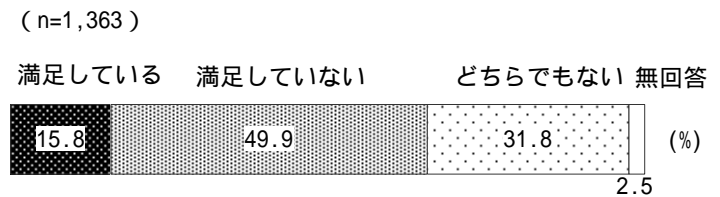
(1) 主な道路の利用目的

普段の道路の利用目的を聞いたところ、「家事・買物」(42.8%)が4割を超えており、「通勤・通学」(38.0%)が約4割となっている。



(2) 県内の道路状況の満足度

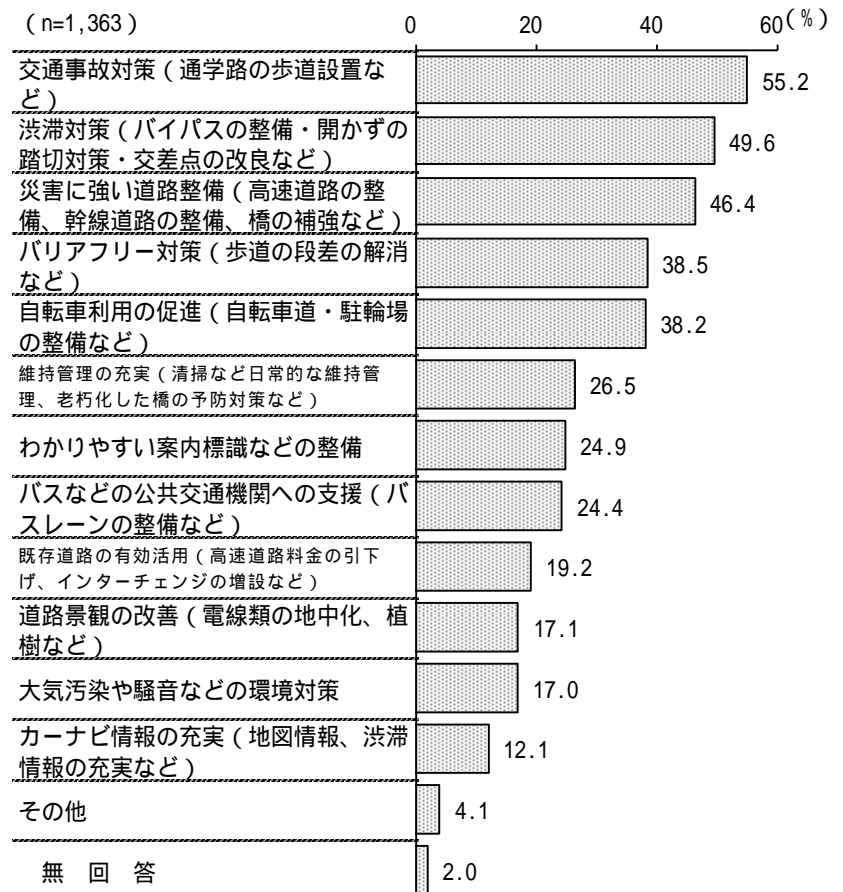
千葉県内の道路状況について満足度を聞いたところ、「満足している」(15.8%)が1割台半ば、「満足していない」(49.9%)は約5割と、「満足していない」が「満足している」を大きく上回っている。



(3) 道路整備をしていく上での優先課題

(複数回答：いくつでも)

今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題を聞いたところ、「交通事故対策(通学路の歩道設置など)」(55.2%)が5割台半ばと最も高く、以下、「渋滞対策(バイパスの整備・開かずの踏切対策・交差点の改良など)」(49.6%)、「災害に強い道路整備(高速道路の整備、幹線道路の整備、橋の補強など)」(46.4%)、「バリアフリー対策(歩道の段差の解消など)」(38.5%)、「自転車利用の促進(自転車道・駐輪場の整備など)」(38.2%)、「維持管理の充実(清掃など日常的な維持管理、老朽化した橋の予防対策など)」(26.5%)、「わかりやすい案内標識などの整備」(24.9%)、「バスなどの公共交通機関への支援(バスレーンの整備など)」(24.4%)、「既存道路の有効活用(高速道路料金の引下げ、インターチェンジの増設など)」(19.2%)、「道路景観の改善(電線類の地中化、植樹など)」(17.1%)、「大気汚染や騒音などの環境対策」(17.0%)、「カーナビ情報の充実(地図情報、渋滞情報の充実など)」(12.1%)、「その他」(4.1%)となっている。



《「道路整備について」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、248人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

道路上の白線がほとんど消えてしまっているところが多く、危険。歩道が整備不足で（狭かったり、道がでこぼこしている）、車いすやベビーカーなど満足に通れないと思う。

（女性、40代、東葛飾地域）

高齢者施設の周辺の安全歩道の確保。集中豪雨の時の排水不十分のないこと。又、落葉によるグレーチングのつまりのない、工夫された側溝蓋の考案。交叉点での車・自転車・人の事故を激減させる新しい工夫。（男性、65歳以上、印旛地域）

枝葉で標識が見えないところが多い。標識と道路表示の食い違いがある（カーブとT字路とか...）。老朽化した道が多い（市道かもしれませんが）。（男性、65歳以上、東葛飾地域）

国道16号線の渋滞を何とかしてほしい。右折信号左折信号をもっと増やしてほしい。

（女性、30代、千葉地域）

船橋、習志野、市川、松戸の交通渋滞の改善をお願いしたい。道路幅の狭い道が多く、危険。

（男性、30代、葛南地域）

南房総の道路は狭く、歩道も整備されていない。道路の整備なしに地域の発展も無い。もっと力を入れてやって欲しい。（男性、50代、安房地域）

自転車道が少なく、自動車を運転している際に、自転車との距離が近く、接触してしまうのではないかと、非常に不安に思っています。（女性、20代、印旛地域）

アクアラインは今のままの金額がいいと思う。圏央道は料金高い。雪が降った時の対応をもっと早く。（女性、40代、君津地域）

経済効果と渋滞緩和のために、圏央道の早期開通を望みます。（男性、60～64歳、長生地域）

通学路の歩道の設置、バリアフリー対策を特に早急に対処願いたい。

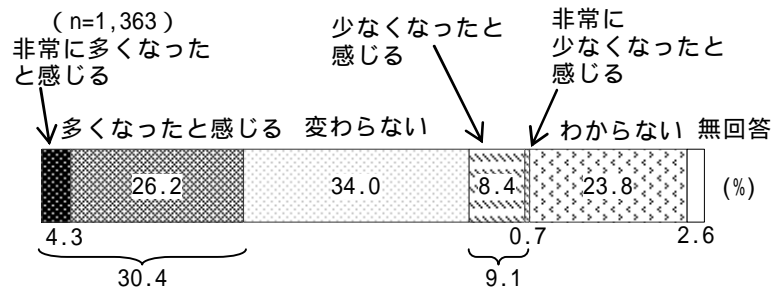
（女性、65歳以上、東葛飾地域）

6 県民の治安に対する意識と警察に求めることについて

(1) 居住地における最近の犯罪発生状況

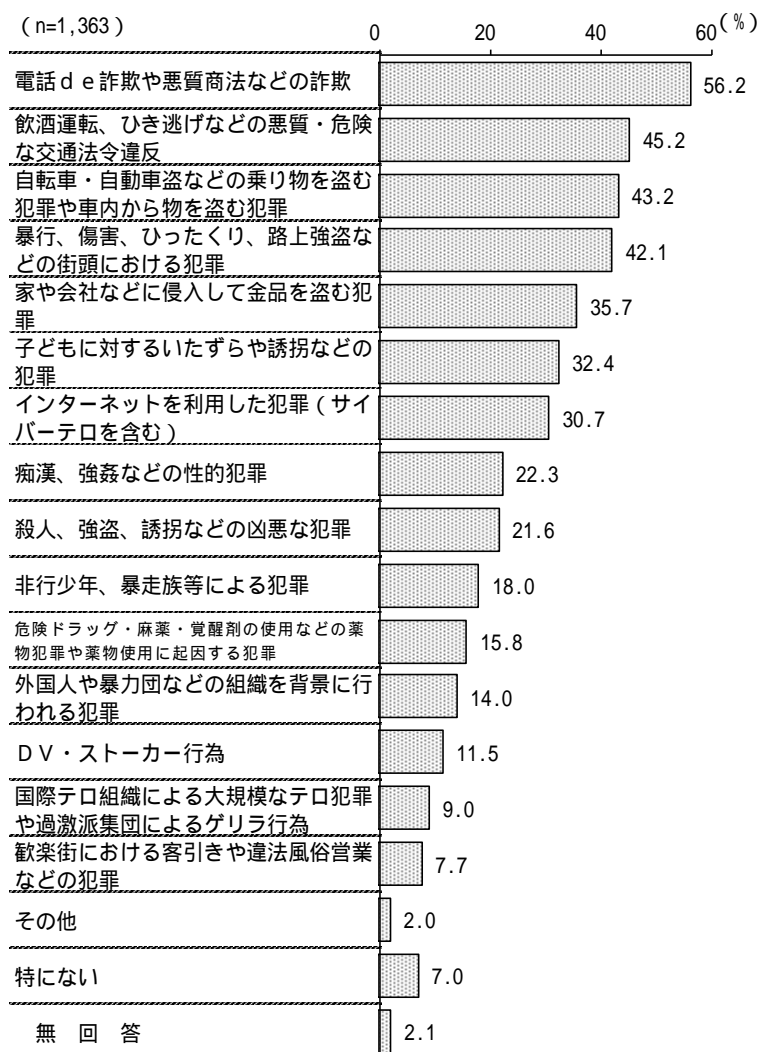
住んでいる地域における最近の犯罪の発生状況を聞いたところ、「非常に多くなったと感じる」(4.3%)、「多くなったと感じる」(26.2%)を合わせた、『多くなったと感じる計』(30.4%)は3割であった。

一方、「少なくなったと感じる」(8.4%)と「非常に少なくなったと感じる」(0.7%)を合わせた、『少なくなったと感じる計』(9.1%)は約1割となっている。



(2) 身近な人が巻き込まれる危険性について不安を感じる犯罪 (複数回答: いくつでも)

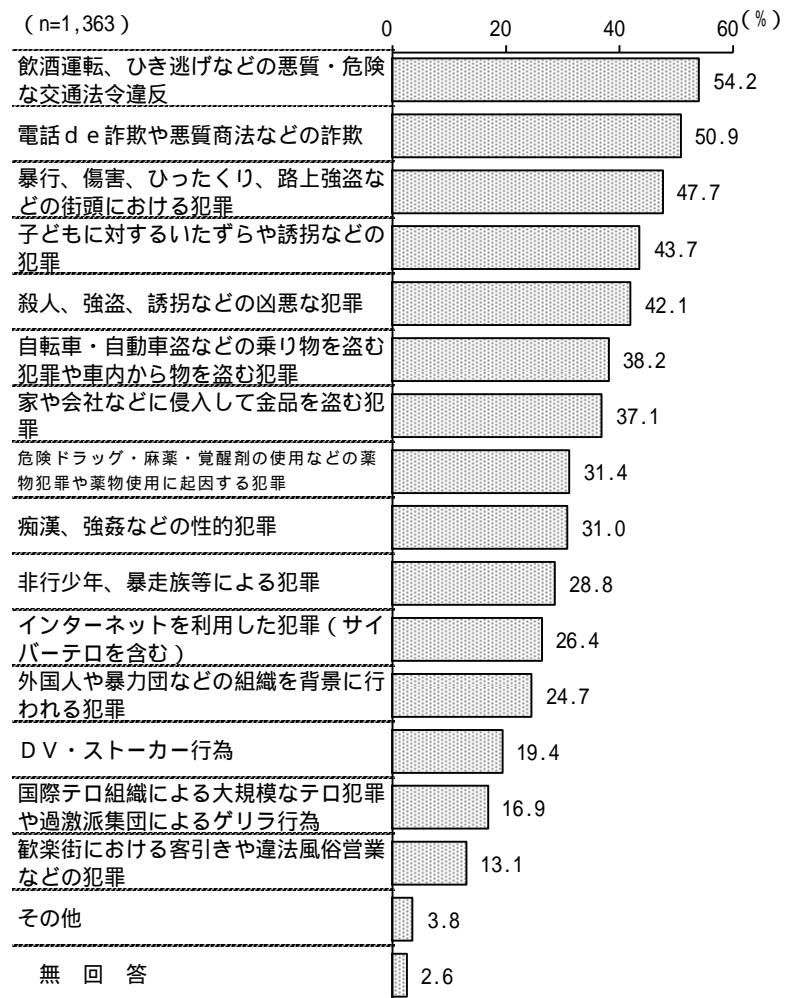
不安に感じている犯罪を聞いたところ、「電話d e詐欺や悪質商法などの詐欺」(56.2%)が5割台半ばと最も高くなっている。以下、「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」(45.2%)、「自転車・自動車などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪」(43.2%)、「暴行、傷害、ひったくり、路上強盗などの街頭における犯罪」(42.1%)が続く。



(3) 警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪

(複数回答：いくつでも)

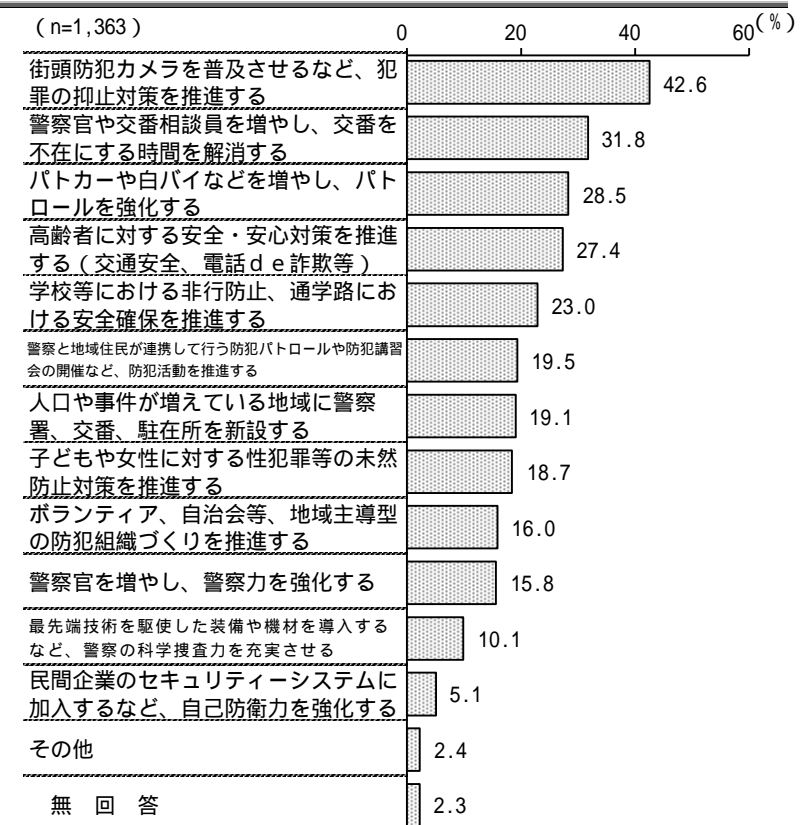
警察に力を入れて取り締まって欲しい犯罪を聞いたところ、「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」(54.2%)が5割台半ばと最も高くなっている。以下、「電話d e詐欺や悪質商法などの詐欺」(50.9%)、「暴行、傷害、ひったくり、路上強盗などの街頭における犯罪」(47.7%)、「子どもに対するいたずらや誘拐などの犯罪」(43.7%)、「殺人、強盗、誘拐などの凶悪な犯罪」(42.1%)が続く。



(4) 安全で安心できる生活を守るために必要なこと

(複数回答：3つまで)

犯罪や事故の心配のない、安全で安心できる生活を守っていくために、何が必要かを3つまで選んでもらったところ、「街頭防犯カメラを普及させるなど、犯罪の抑止対策を推進する」(42.6%)が4割を超えており最も高くなっている。以下、「警察官や交番相談員を増やし、交番を不在にする時間を解消する」(31.8%)、「パトカーや白バイなどを増やし、パトロールを強化する」(28.5%)、「高齢者に対する安全・安心対策を推進する(交通安全、電話d e詐欺等)」(27.4%)、「学校等における非行防止、通学路における安全確保を推進する」(23.0%)が続く。



《「県民の治安に対する意識と警察に求めることについて」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、148人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

信号無視、スピード超過、あおり、非常に多いのでとにかく小さなことでも取締りしてほしいです。（女性、30代、千葉地域）

夜間のバイクでの暴走族がうるさい。パトロール強化をお願いしたい。（女性、40代、葛南地域）

交番・派出所がパトロール中で無人になる時間がなくなる事を望みます。

（男性、40代、葛南地域）

防犯カメラの交差点ごとの設置や犯罪の早い解決。（男性、50代、東葛飾地域）

県内に防犯カメラを充実すべきと考える。また、その設置状況を地域住民に情報提供すべき。

（男性、65歳以上、印旛地域）

警察官に相談しやすい環境作り、これも警察官の人間性の問題が大きいと思う。いくら人数を増やしても、通り一篇の対応しかしてくれないのなら、性能の良い機器を増やした方がいい。目黒にいたころ、よく自転車で見回って街灯を取り替えたり、何か困ったことがあったらすぐ来てくれた警察の方が（おまわりさん）いらっしゃいました。退職される時、地域の人達から花束を贈られていました。地域ごとにそういう人がいてくれたら安心して暮らせると思う。

（女性、60～64歳、夷隅地域）

移動交番があり、とても良い事だと思います。先日散歩をしておりましたら、警察の方が（小学校一年生、たぶんチーバ君のカバーをかけていた）知らない人について行かない...等お話をしていた。とてもよかったです。たちどまってきてしまいました。

（女性、65歳以上、葛南地域）

警察のパトロールを強化、地域住民と連携して、安全な町づくり。（男性、40代、千葉地域）

警察は事件が起こった時にしか動けないと思うので、町会や地域の自助がないと犯罪は防げないと思います。（女性、40代、葛南地域）

自転車の乗り方について、スマホいじり、左側通行をしていない。（男性、40代、印旛地域）

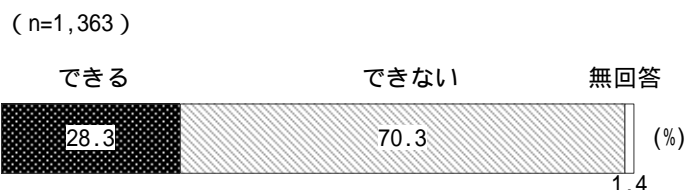
犯罪を起こす原因をなくすには一つには家庭環境、友人関係、学校関係に問題がある。

（男性、65歳以上、安房地域）

7 心肺蘇生法及びAED（自動体外式除細動器）について

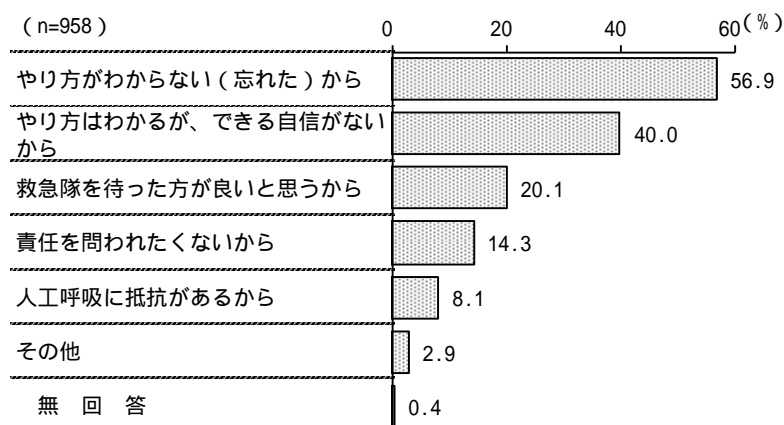
(1) 胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸ができるか

心肺蘇生法の実施可否を聞いたところ、「できる」(28.3%)は約3割となっており、「できない」(70.3%)は7割であった。



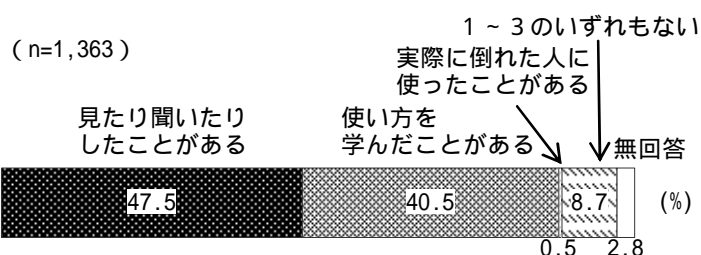
(2) 胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸ができないと思う理由（複数回答：いくつでも）

心肺蘇生法が「できない」と回答した958人に、その理由を聞いたところ、「やり方がわからない（忘れた）から」(56.9%)が5割台半ばと最も高く、以下、「やり方はわかるが、できる自信がないから」(40.0%)、「救急隊を待った方が良いと思うから」(20.1%)が続く。



(3) AED（自動体外式除細動器）の認知・使用経験

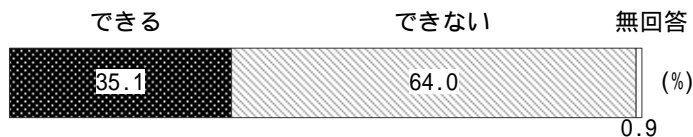
AED（自動体外式除細動器）について、見聞きしたり、使ったことがあるかを聞いたところ、「使い方を学んだことがある」(40.5%)は4割となっており、「見たり聞いたりしたことがある」(47.5%)、「実際に倒れた人に使ったことがある」(0.5%)を合わせた『見たり聞いたりしたことがある計』(88.6%)は約9割となっている。



(4) AED(自動体外式除細動器)を使用できるか

緊急時にAEDを使用することができるかを聞いたところ、「できる」(35.1%)は3割台半ば、「できない」(64.0%)は6割台半ばとなっている。

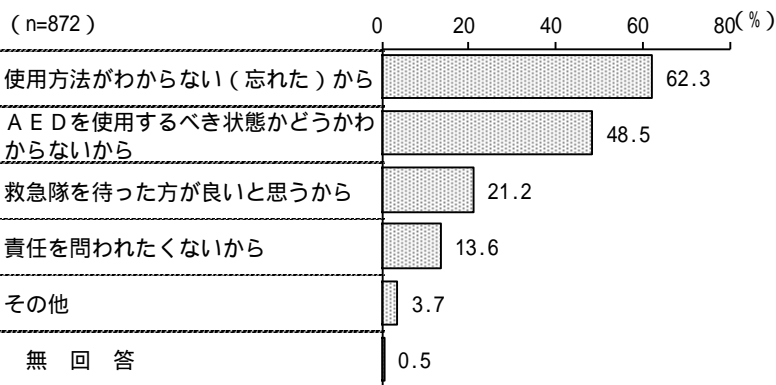
(n=1,363)



(5) AED(自動体外式除細動器)を使用できないと思う理由

(複数回答:いくつかでも)

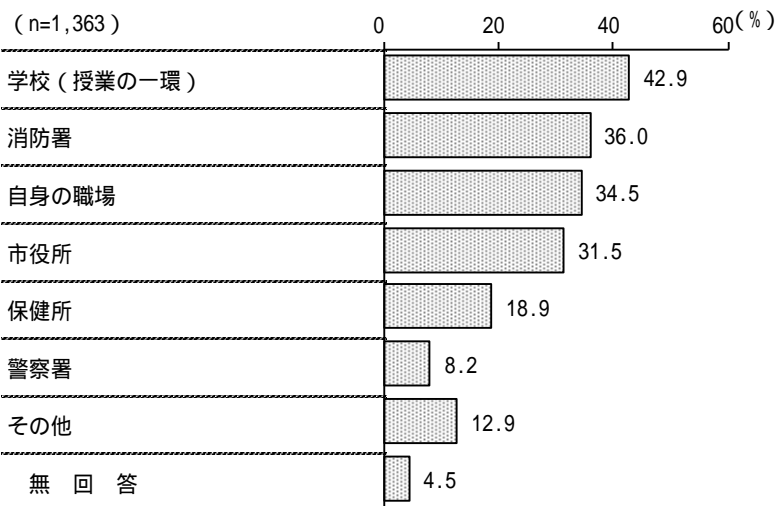
緊急時にAEDを使用することができないと回答した872人に、使用できない理由を聞いたところ、「使用方法がわからない(忘れた)から」(62.3%)が6割を超えており最も高い。以下、「AEDを使用するべき状態かどうかわからないから」(48.5%)、「救急隊を待った方がよいと思うから」(21.2%)が続く。



(6) 応急手当の講習を希望する場所

(複数回答:いくつかでも)

応急手当の講習をどこで受講できると良いかを聞いたところ、「学校(授業の一環)」(42.9%)が4割を超えており最も高くなっている。以下、「消防署」(36.0%)、「自身の職場」(34.5%)、「市役所」(31.5%)が続く。



《「心肺蘇生法及びA E D（自動体外式除細動器）について」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、131人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

親子で講習を受講できる機会があれば良いと思う。（女性、30代、印旛地域）

実際に使用したことはありませんが、使い方を教えて頂いた事があります。学校で使用法を指導すれば、もっと助かる人が増えると思う。（女性、30代、君津地域）

何度か講習を受けることが必要なので、機会がなるべく多くあると良い。
（男性、40代、東葛飾地域）

A E Dの使用方法を消防署の方が実演してくれましたが、その場では理解できましたが、実際にはできないと思います。何回もやってみないとできません。（女性、65歳以上、印旛地域）

講習を受けないことには、身近なものとして認識できない。私が受けた時の講師（消防士）から伝わった命を守る、守れるかもしれないということが強く印象に残っている。
（男性、40代、香取地域）

A E Dの設置場所が増えているように感じます。これからも増やしてほしいと思います。
（女性、30代、葛南地域）

A E D設置してあります、というステッカーは見かけるが、どこにあるのか分からないので意味をなさないと思う。いついかなる時も、早急に利用できるよう、誰でもすぐに認知可能な場所に設置してあるのが望ましい。（女性、30代、葛南地域）

A E Dを設置している場所は夜間施錠されている所が多いと思うので、夜間でもすぐに使える場所での保管をしてもらえるとよいと思います。（男性、40代、君津地域）

コンビニに設置されているのか不明ですが、設置されていないなら、設置の義務付けを。
（男性、50代、東葛飾地域）

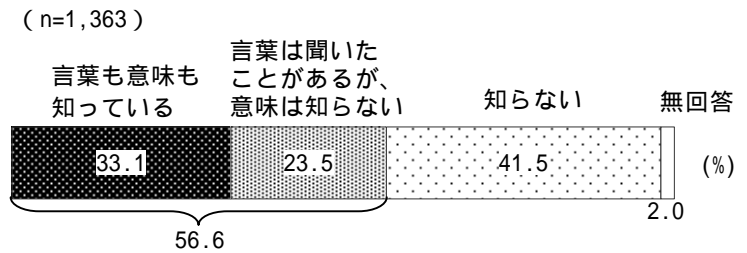
8 ワーク・ライフ・バランスについて

(1) 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度

「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」()という言葉を知っているかを聞いたところ、「言葉も意味も知っている」(33.1%)が3割台半ば、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」(23.5%)を合わせた『聞いたことがある』(56.6%)は5割台半ばとなっている。

一方、「知らない」(41.5%)は4割を超えている。

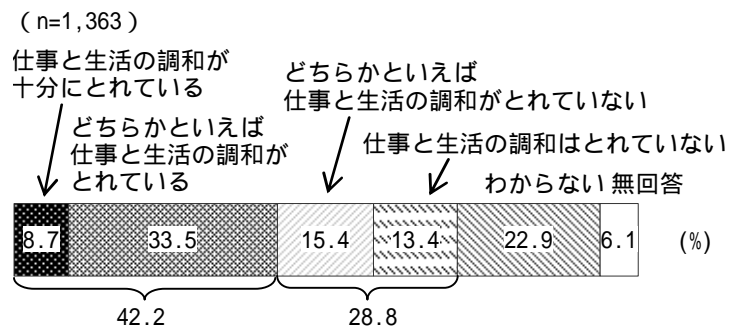
- ()ワーク・ライフ・バランスとは老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態です。



(2) ワーク・ライフ・バランスの実現度

ワーク・ライフ・バランスについて、自身の実現度を聞いたところ、「仕事と生活の調和が十分にとれている」(8.7%)、「どちらかといえば仕事と生活の調和がとれている」(33.5%)を合わせた『仕事と生活の調和がとれている計』(42.2%)は4割を超えている。

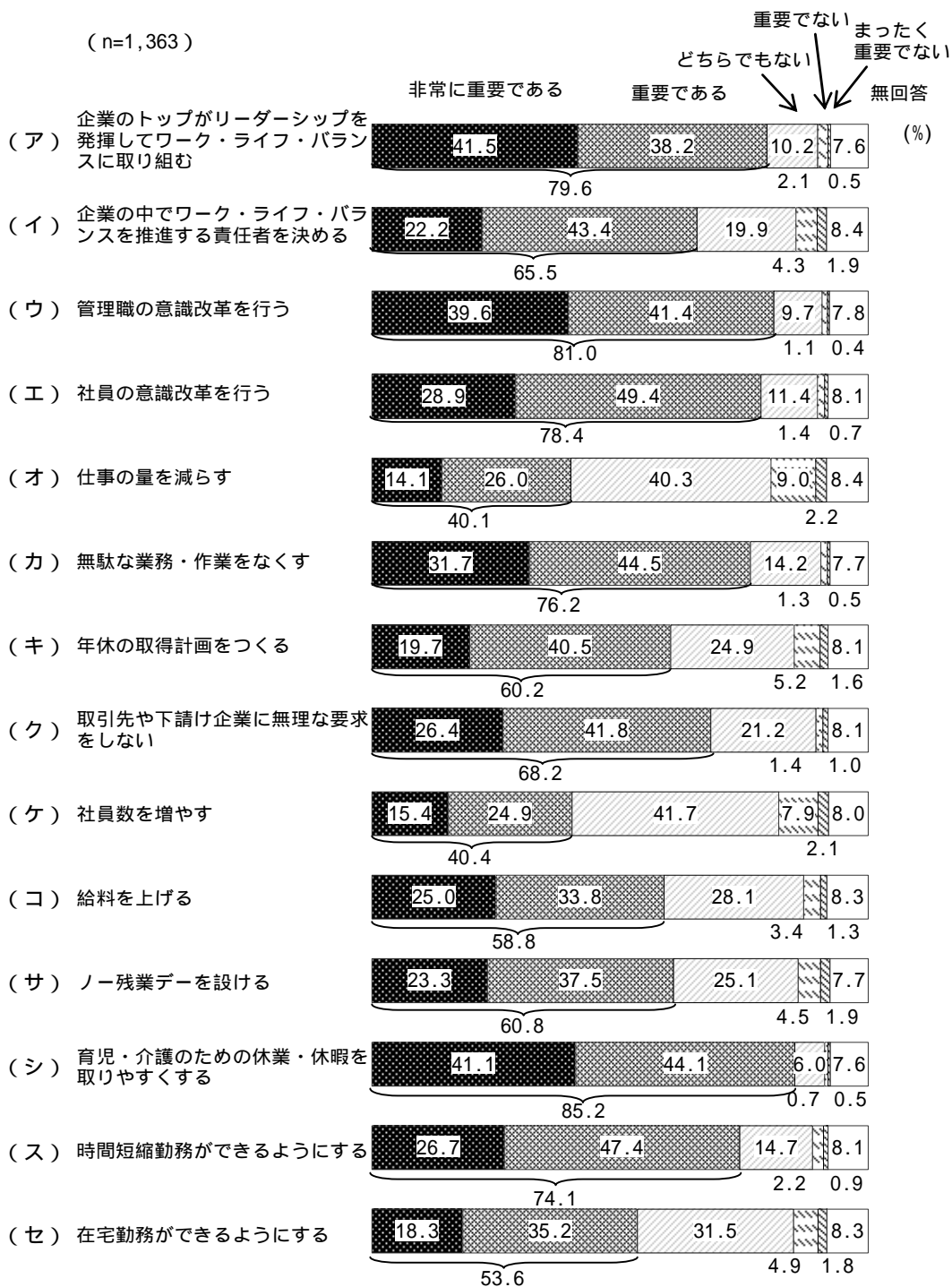
一方、「仕事と生活の調和はとれていない」(13.4%)、「どちらかといえば仕事と生活の調和がとれていない」(15.4%)を合わせた『仕事と生活の調和はとれていない計』(28.8%)は、約3割となっている。



(3) ワーク・ライフ・バランス実現への取組についての重要度

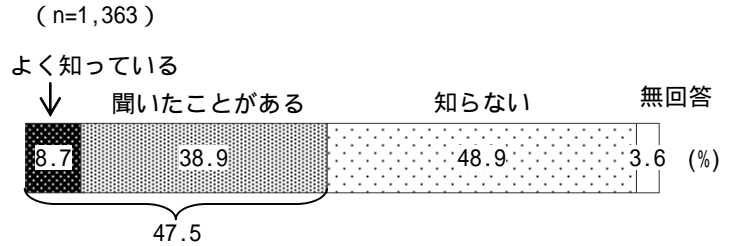
ワーク・ライフ・バランスを実現するための取組について、「非常に重要である」と「重要である」を合わせた『重要である計』でみたところ、「(シ)育児・介護のための休業・休暇を取りやすくする(85.2%)」が8割台半ばと最も高く、以下「(ウ)管理職の意識改革を行う(81.0%)」、「(ア)企業のトップがリーダーシップを発揮してワーク・ライフ・バランスに取り組む(79.6%)」、「(エ)社員の意識改革を行う(78.4%)」までが約8割となっている。

一方で、「(オ)仕事の量を減らす(40.1%)」、「(ケ)社員数を増やす(40.4%)」は、『重要である計』が共に4割と、半数に達していない。



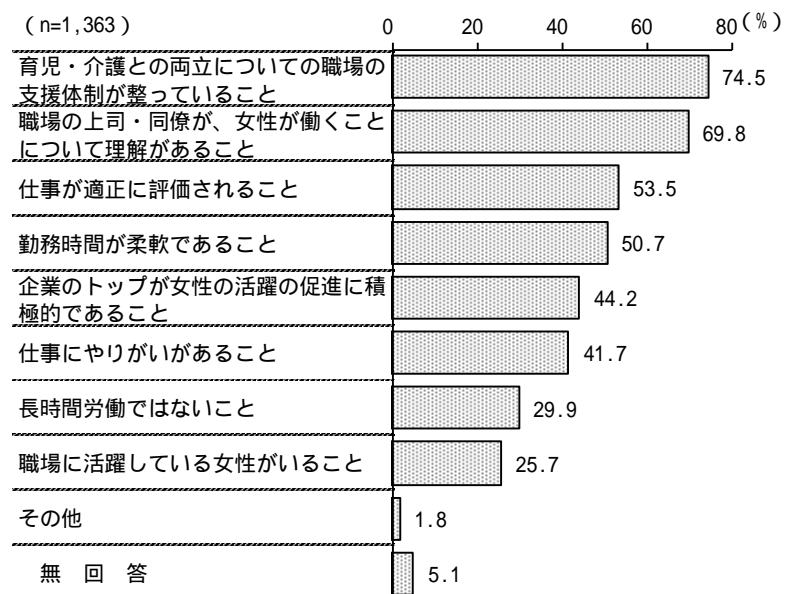
(4) 女性活躍推進法の認知度

女性活躍推進法を知っているかを聞いたところ、「よく知っている」(8.7%)、「聞いたことがある」(38.9%)を合わせた『聞いたことがある計』(47.5%)は、約5割となっている。



(5) 女性が活躍できる仕事・職場環境にするために必要なこと (複数回答:いくつでも)

女性が活躍できる仕事・職場環境にするためには何が必要かを聞いたところ、「育児・介護との両立についての職場の支援体制が整っていること」(74.5%)が7割台半ばと最も高く、以下、「職場の上司・同僚が、女性が働くことについて理解があること」(69.8%)、「仕事が適正に評価されること」(53.5%)、「勤務時間が柔軟であること」(50.7%)と続く。



《「ワーク・ライフ・バランスについて」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、114人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

ムリな長時間労働などは取り締まりをするべき。社員だけではなく、アルバイトにも「ワーク・ライフ・バランス」を図れるよう取り組むべき。(女性、20代、葛南地域)

子育てのために一度正社員から離れると、今の時代また正社員には戻れないのが現実。いくら法律を作っても現実は違う。きれいごとを質問する前に、本当に変えていく現実的な事を実施すべきでは？(女性、30代、君津地域)

どの職場も人手が不足している中、ニーズが多様化しているので残業も増え、ワークライフバランスが保てない。また、都心部への通勤時間も多くの時間をさいている。県としては、保育の充実や職業訓練、教育、職場の環境改善への取り組みに助成金制度を増やしたり、北西部以外の交通機関の発達、地域への企業の誘致などに力を入れてほしい。(女性、40代、千葉地域)

女性が育児等できるよう、柔軟な対応が必要である。そして、会社ですでにそのように活躍している前例があると心強いし、何より職場でのバックアップが必要である。

(男性、40代、東葛飾地域)

ストレスチェックなど、精神面でもっとサポートしてほしい。有休の義務化、休みやすい環境作り。(女性、50代、東葛飾地域)

結婚した女性が、子供が小さい為に働く事が出来にくい。保育園、育児所などが無い為、働く事に支障があるのが多い現在。出来れば、大企業では会社の中にそれを備えているところもあるにはあるが、無い。まして中小企業にない。そこで中小企業で話し合い、保育園、育児所を作る(それ等会社で働いている人達が使用できる。もし余裕があれば、近所の人達も使用できる)。そうすれば女性の人達も安心して働く事が出来るのでは。(男性、65歳以上、海匠地域)

結婚後家にいるので、復職したい気持ちはあるが自信がない。子供が一人でいても安心できる年齢になるまで、働きに出る事をためらってしまう。(女性、40代、東葛飾地域)

乳幼児を持っている女性が働くことは子供の心の成長にとってどうなのか疑問に思っている。この期間は働かなくても良い環境ができれば将来的には安定した社会が築けるのではと思っている。(女性、65歳以上、葛南地域)

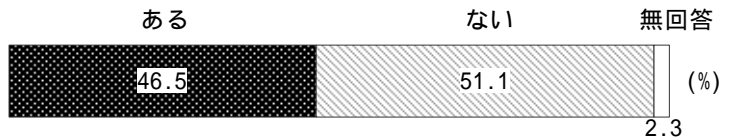
不要不急な残業の禁止やノー残業デー等の徹底、就業時間以降のシステムダウン、夜20時以降の残業禁止といった強制的な取組みもいいのではないかと思う。(男性、40代、印旛地域)

9 都市農業について

(1) 農作業体験の有無

農作業体験の有無を聞いたところ、「ある」(46.5%)が4割台半ば、「ない」(51.1%)が5割を超えている。

(n=1,363)

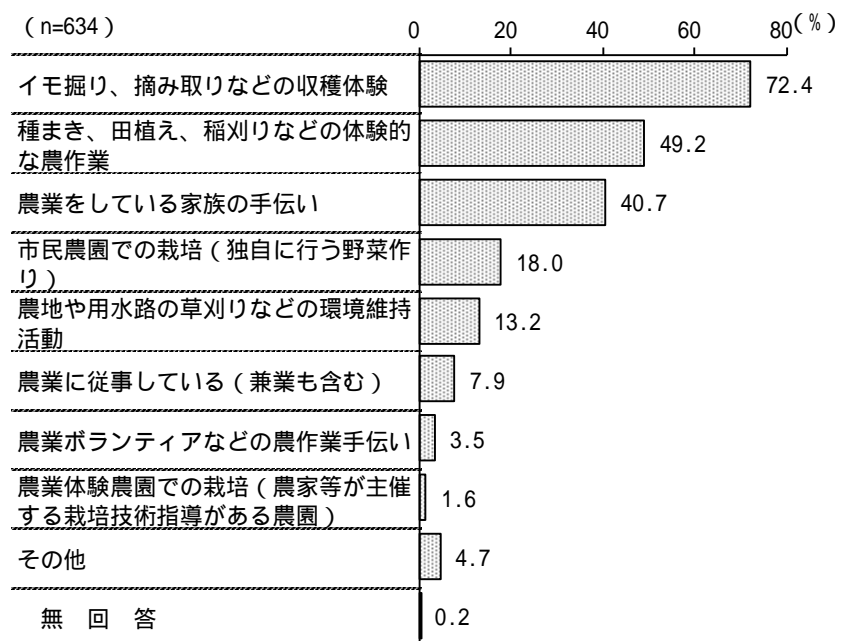


(2) 農作業体験の内容

(複数回答：いくつでも)

農作業体験のある634人に、体験した内容を聞いたところ、「イモ掘り、摘み取りなどの収穫体験」(72.4%)が7割を超えており最も高く、以下、「種まき、田植え、稲刈りなどの体験的な農作業」(49.2%)、「農業をしている家族の手伝い」(40.7%)が続く。

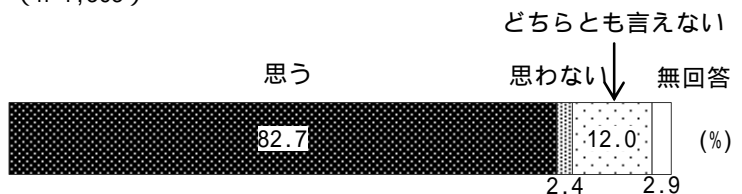
(n=634)



(3) 千葉県に農地を残したいと思うか

千葉県に農地を残したいと思うかを聞いたところ、「思う」(82.7%)の回答が8割を超えている。

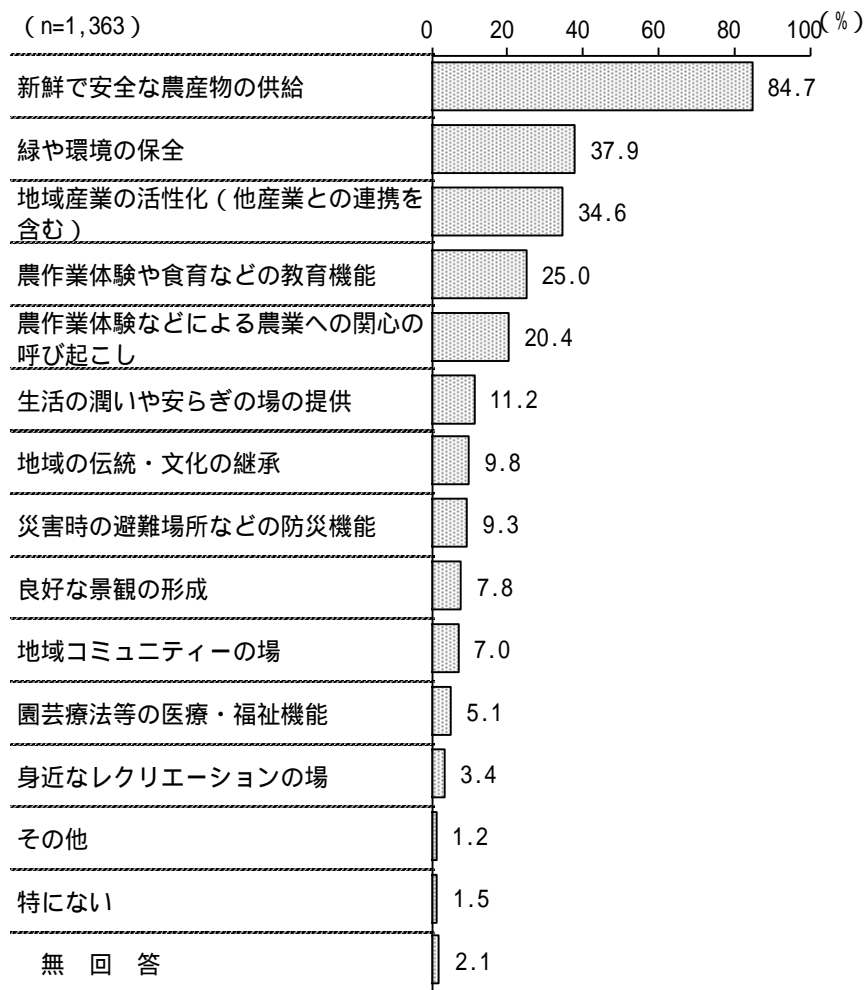
(n=1,363)



(4) 千葉県の農業・農地に期待する機能や役割

(複数回答：3つまで)

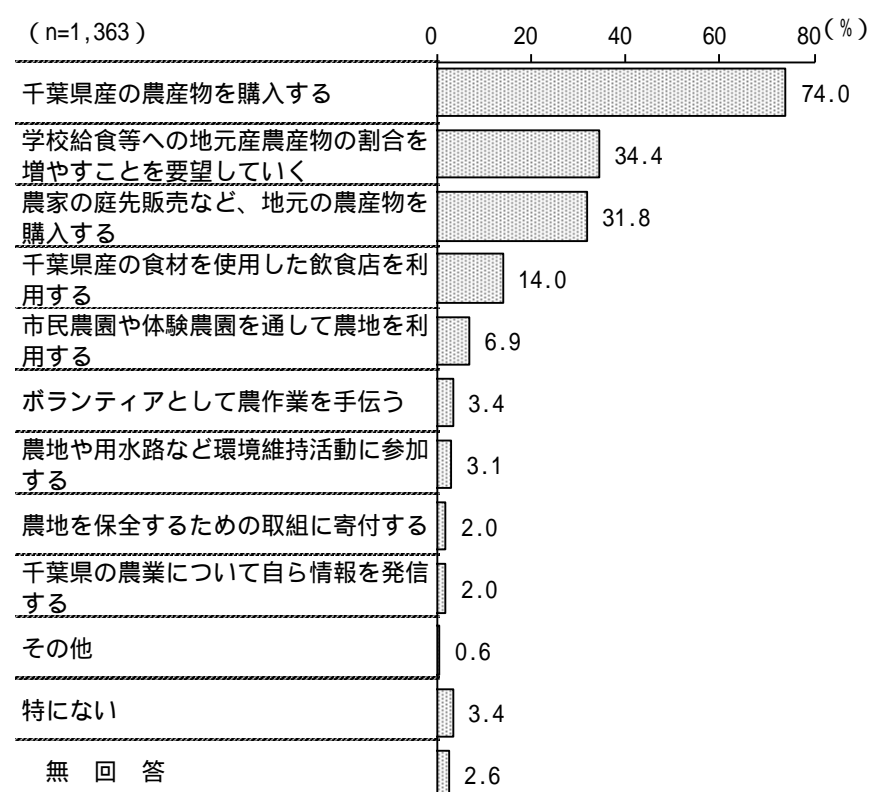
千葉県の農業・農地にどのような機能や役割を期待するか、3つまで選んでもらったところ、「新鮮で安全な農産物の供給」(84.7%)が8割台半ばと最も高く、以下、「緑や環境の保全」(37.9%)、「地域産業の活性化(他産業との連携を含む)」(34.6%)、「農作業体験や食育などの教育機能(他産業との連携を含む)」(25.0%)、「農作業体験などによる農業への関心の呼び起こし」(20.4%)が続く。



(5) 農地を守るために行いたい支援

(複数回答：2つまで)

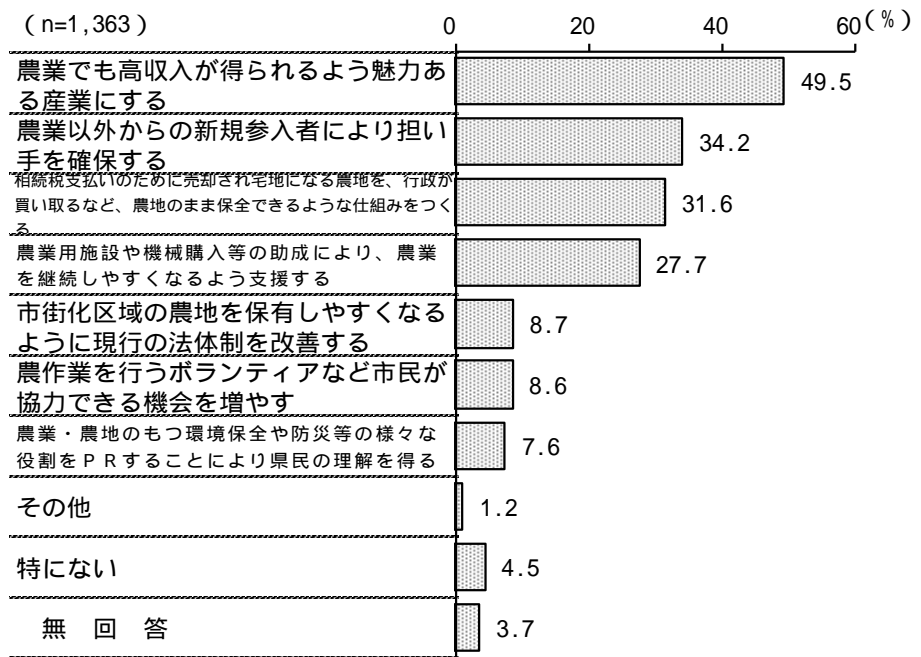
農地を守るためにどのような支援を行いたいかを、2つまで選んでもらったところ、「千葉県産の農産物を購入する」(74.0%)が7割台半ばと最も高く、以下、「学校給食等への地元産農産物の割合を増やすことを要望していく」(34.4%)、「農家の庭先販売など、地元の農産物を購入する」(31.8%)が続く。



(6) 行政が農地を保全するために必要な対策

(複数回答：2つまで)

行政が農地を保全するために、どのような対策を行う必要があるかについて、2つまで選んでもらったところ、「農業でも高収入が得られるよう魅力ある産業にする」(49.5%)が約5割と最も高く、以下、「農業以外からの新規参入者により担い手を確保する」(34.2%)、「相続税支払いのために売却され宅地になる農地を、行政が買い取るなど、農地のまま保全できるような仕組みをつくる」(31.6%)、「農業用施設や機械購入等の助成により、農業を継続しやすくなるよう支援する」(27.7%)が続く。



《「都市農業について」の自由回答(抜粋)》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、118人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

農業体験や農業を少しでも身近に感じる必要がある。引き続き学校などでも取り入れていってほしいと思います。(女性、20代、千葉地域)

学校給食で、県内産の食材を使うべきだと思う。(女性、30代、安房地域)

周りはどんどん開発されていますが、時々田畑を見つけるとほっとします。身近に子供のころから農業体験することは「食育」だけではなく、情操教育にもなるのではと感じます。(女性、50代、葛南地域)

農業 = やりがいのある仕事 = しっかり休みが取れる仕組み(お金もしつかり稼げることも大切)、体制作りを強化すると良いと思います。メイドインジャパンは世界でも通用するように日本国内の消費者も国内産、地元産の重要性に気づいています。食べる側としての意識が高まっているので、今度は作る側の意識が高まれば良いと思います(千葉県なら県が運営するなど、千葉県団体の農業を行う施設を設け、人を雇うなど)。(女性、30代、千葉地域)

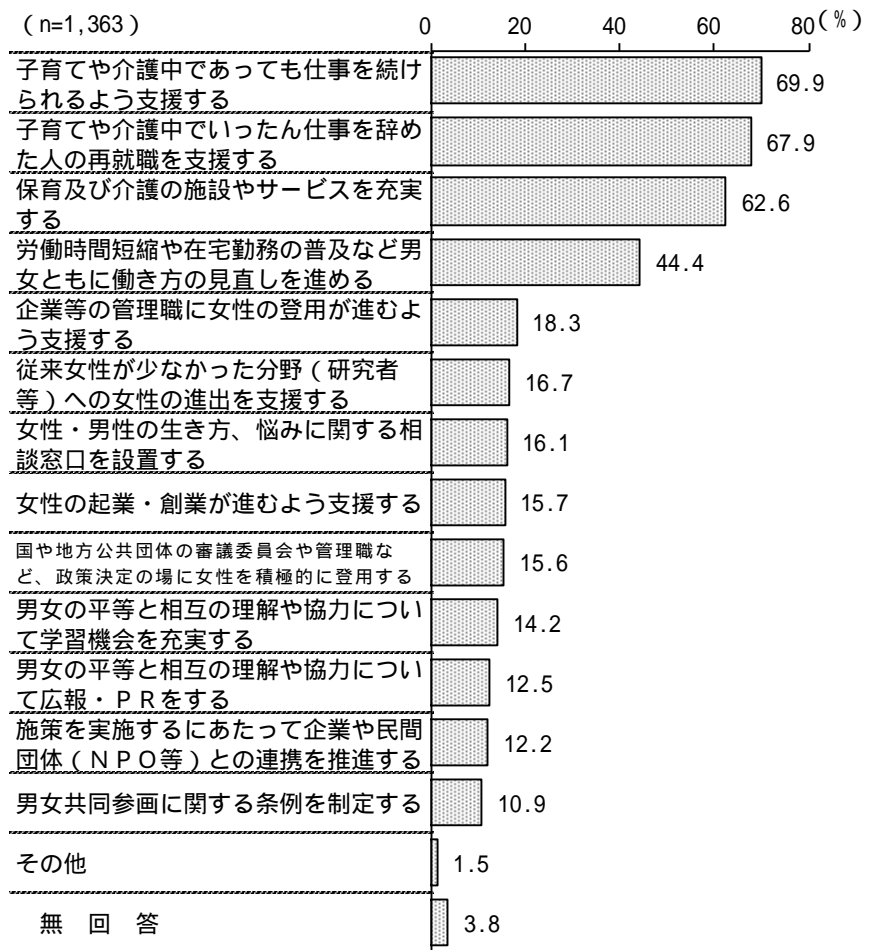
農業に対し興味関心を示している人は多くいると思います。ただし多くの方が農業で生計を立てていくことへの不安と資金について悩まれていると思います。新規参入者の方には、新しいアイデアや発想をもっている方も多くいると思います。新しい方が農業に入りやすいような環境の整備を求め期待します。(男性、40代、葛南地域)

10 男女共同参画社会の形成促進について

(1) 男女共同参画社会の実現のために今後行政が力を入れるべき取組

(複数回答:いくつでも)

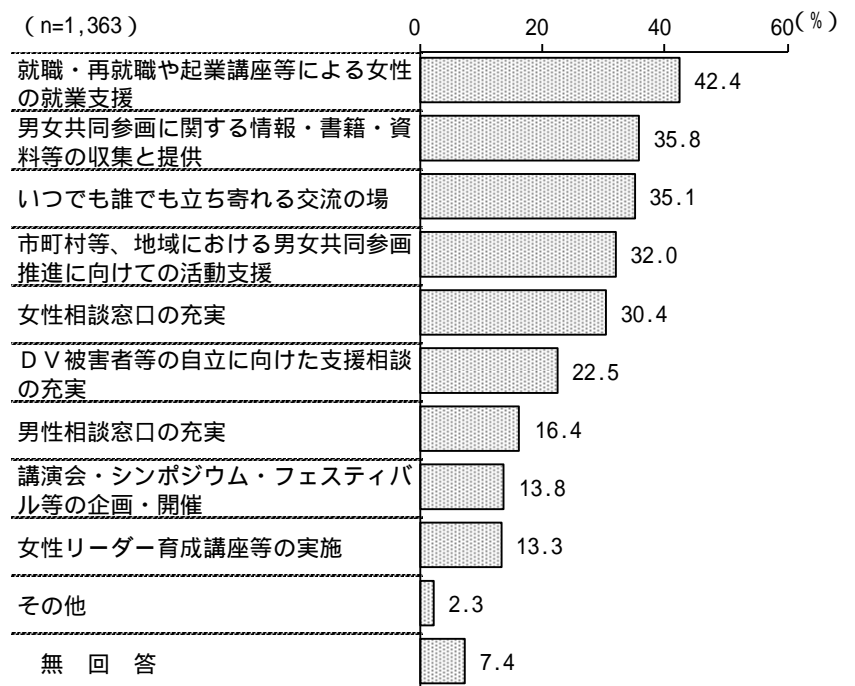
男女共同参画社会を実現するために、今後行政はどのようなことにより力を入れるべきを聞いたところ、「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」(69.9%)が7割で最も高く、以下、「子育てや介護中であって仕事を辞めた人の再就職を支援する」(67.9%)、「保育及び介護の施設やサービスを充実する」(62.6%)、「労働時間短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」(44.4%)が続く。



(2) 男女共同参画センターで充実させるべき事業

(複数回答:いくつでも)

男女共同参画センターで充実させるべき事業を聞いたところ、「就職・再就職や起業講座等による女性の就業支援」(42.4%)が4割を超え最も高く、以下、「男女共同参画に関する情報・書籍・資料等の収集と提供」(35.8%)、「いつでも誰でも立ち寄れる交流の場」(35.1%)、「市町村等、地域における男女共同参画推進に向けての活動支援」(32.0%)、「女性相談窓口の充実」(30.4%)が続く。



《「男女共同参画社会の形成促進について」の自由回答（抜粋）》

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、57人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

なぜその必要があるのか、しなければ今後どうなってしまうのか。費用対効果を明示し、企業活動のメリットになることが理解されれば取り組みは活発になると考えます。

（女性、30代、葛南地域）

男女の得手不得手を具象化し、補う方法を示す。会社やお店で促進するようにPRする。

（女性、30代、葛南地域）

活躍している女性の体験やキャリアをPRする機会を増やしていく。

（男性、60～64歳、印旛地域）

男性、女性仲良くという目的ならば、定期的に交流イベントを作り、意識させない婚活の場にしてみるとか。老若男女が楽しめる場であると尚いいと思う。農作業体験イベントとか。料理教室とか。（女性、30代、葛南地域）

男性への支援も重要と考えます。（男性、40代、葛南地域）

日本においてはまだまだ男性と女性との差が大きいですが、少しずつでもいいかたちに育てほしいと願います。（女性、40代、印旛地域）

能力のある女性がたくさんいますが、環境が男性有利な状況の為、生かしてない。女性が働き易い社会への実現が必要。（男性、40代、千葉地域）

何でも全てが同一ではない。違いを肯定的に受け入れ、柔軟に対応すれば良い。

（男性、40代、東葛飾地域）

意識を変えることが一番大切だと思う。子育て、介護は女性の仕事と思っているのなら、何も良くなれないと思う。もっと一人の人だけに重荷を背負わせないような、困っている人、弱い人を自然に助けられるような、そんな心が育てほしい。（女性、60～64歳、夷隅地域）

育児、介護のある人は自宅で仕事が出来たり、短時間の仕事が自由に選べれば良いと思います。

（女性、65歳以上、東葛飾地域）

【県に関する意見（抜粋）】

この「世論調査」に関する意見を自由に記述していただいたところ、263人からの回答が寄せられた。これらのご意見から、一部抜粋してご意見を記載した。

県政全般に関する要望

農業、漁業、工業、商業と非常にバランスのとれた良い県だと思う。各事業のバランスの良い発展を目指して欲しい。人の考え方が多様化しているが、公正な行政に期待している。

（男性、65歳以上、葛南地域）

便利な交通網を整備する

2020年に東京五輪があり、成田空港からの外国人が多く入ってくるが、東京に行く通過県にとどめずに、千葉県にも足をとめるようにすることが大事と考える。交通網、宿泊施設の整備も早急に必要。（男性、50代、東葛飾地域）

高齢者の福祉を充実する

高齢者が孤立してしまっている印象があります。身体が不自由だとしても、認知症があったとしても社会へ出やすい参加しやすい環境を整えて下さい。又、介護職への手当が少な過ぎて、高齢化社会へ対応出来るのか不安があります。（女性、30代、葛南地域）

次世代を担う子どもの育成支援を充実する

子育て、住みやすい県NO.1を目指してほしいです。（男性、40代、千葉地域）

県政の情報発信について

県としての新年の計画などわかりやすく公表してもらいたい。難しい説明でなく、やさしく。

（女性、65歳以上、葛南地域）

交通事故から県民を守る

高齢者の事故が（認知症）心配です。免許返納に対しての特典として、高齢者の足となるものを考えて頂きたい。（女性、65歳以上、東葛飾地域）

犯罪防止対策をすすめる

防犯カメラの設置を(住宅団地など)各市町村に働きくださる様(犯罪が少なくなると思います)。

（男性、65歳以上、東葛飾地域）

道路を整備する

南房総地域の道路の改善、e t c。富津館山有料道路の早期二車線化。渋滞の改善。館山市の子供達の通学路の確保。安全に登校できる様にしてほしいです。（女性、30代、安房地域）

学校教育を充実する

教育にかかる費用を高めるべきである。学校の老朽化、教員の高齢化等、考えるべき課題は多いと思うが、未来をたくす子どもの育成に関しての経費は削るべきではない。1人の子どもにかかる時間、人間の数を増やし、人材の育成に努めるべきであると考えている。教職がブラックと呼ばれることは絶対に避けるべきである。(男性、50代、東葛飾地域)

医療サービス体制を整備する

インフラ、医療の充実をとにかくお願いします。(男性、50代、千葉地域)

【世論調査に関する意見(抜粋)】

この「世論調査」に関する意見を自由に記述していただいたところ、167人からの回答が寄せられた。これらのご意見から、一部抜粋してご意見を記載した。

このアンケートによって千葉をより良く出来るのであれば次回もアンケートに参加します。
(男性、40代、山武地域)

この調査をさせていただいて自分があまり県や地域のことを見ていないなと感じた。あらためて意識をした。(女性、60~64歳、葛南地域)

日頃あまり県政に興味がないので、質問に対して的確な回答が出来ていないと思います。申し訳ございません。これからは「県民だより」等を読むように心がけます。
(女性、65歳以上、葛南地域)

住民の意見や要望を知るために必要な事業。(男性、65歳以上、君津地域)

少しページ数、質問数が多いように思いました。(女性、20~29歳、千葉地域)

もう少しボリュームを少なくしてほしいです。医療について、仕事についてなど、身近な内容を最初の方に質問を出した方が回答率が上がると思います。(女性、20代、無回答)

急に送ってこられるとびっくりします。インターネットから答えることが出来るなど、もっと気軽に対応できるようになると助かります。(女性、30~39歳、東葛飾地域)

今回は選んでいただき、ありがとうございました。直接、意見を伝えられてうれしいです。ただ、この意見が反映されるような県政であればよいと思っております。県民は、みてますよ！がんばって下さい。(女性、50代、千葉地域)